



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
 コード番号 7173 URL <https://www.tokyo-kiraboshifg.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 壽信
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 中村 太樹 TEL 03-6447-5799
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月9日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月15日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

（百万円未満、小数点第1位未満は切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	199,262	23.8	60,478	45.1	42,357	35.0
2025年3月期	160,872	16.2	41,652	26.3	31,361	22.2

（注）包括利益 2026年3月期 57,552百万円（398.6%） 2025年3月期 11,542百万円（△72.5%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	1,379.11	1,025.98	10.6	0.8	30.3
2025年3月期	1,027.69	692.41	8.5	0.5	25.8

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 11百万円 2025年3月期 11百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	7,317,357	423,440	5.7	12,153.85
2025年3月期	7,094,566	371,316	5.2	10,458.15

（参考）自己資本 2026年3月期 423,369百万円 2025年3月期 371,278百万円

（注）自己資本とは、期末純資産の部合計から期末新株予約権及び期末非支配株主持分を控除した金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示（2006年金融庁告示第20号）に定める自己資本比率ではありません。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△137,813	△11,031	△5,319	823,593
2025年3月期	△237,377	65,873	△5,507	977,758

（注）上記増減の要因等につきましては、添付資料2頁（当期のキャッシュ・フローの概況）及び同12～13頁（4）連結キャッシュ・フロー計算書をご参照ください。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	75.00	—	85.00	160.00	4,875	15.5	1.5
2026年3月期	—	85.00	—	85.00	170.00	5,182	12.3	1.5
2027年3月期 (予想)	—	15.00	—	15.00	30.00		20.9	

（注）1. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

2. 2027年3月期(予想)につきましては、本日（2026年5月8日）公表いたしました「第1回第一種優先株式の当社普通株式への転換及び消却、株式の売出し並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」及び「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに株主優待制度の変更に関するお知らせ」に記載しております。第1回第一種優先株式の普通株式への転換5,498,532株、普通株式1株につき8株の割合による株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。
なお、株式分割を考慮しない場合の2027年3月期（予想）の年間配当金は240円となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	26,100	△5.5	17,700	△7.9	64.88
通期	58,600	△3.1	40,000	△5.5	143.11

（注）予想1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記した第1回第一種優先株式の普通株式への転換及び株式分割の影響を考慮しております。
なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、第2四半期（累計）で519円8銭、通期で1,144円88銭となります。

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 （社名）KCPエクイティアシスト1号投資事業有限責任組合、 A & KCメザニン・ファイナンス1号投資事業有限責任組合
除外 1社 （社名）-

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	30,650,115株	2025年3月期	30,650,115株
② 期末自己株式数	2026年3月期	366,750株	2025年3月期	423,483株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	30,263,581株	2025年3月期	30,197,509株

（注）当社は、株式交付信託を導入しており、当該信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載していません。

（参考）個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	9,156	△25.2	6,280	△35.1	5,998	△36.8	5,922	△37.6
2025年3月期	12,245	83.1	9,691	116.2	9,497	115.4	9,491	119.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	175.17	143.44
2025年3月期	303.45	209.56

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	235,445	204,536	86.8	4,927.34
2025年3月期	230,633	204,066	88.4	4,925.90

（参考）自己資本 2026年3月期 204,526百万円 2025年3月期 204,057百万円

（注）自己資本とは、期末純資産の部合計から期末新株予約権を控除した金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示（2006年金融庁告示第20号）に定める自己資本比率ではありません。

〈個別業績の前期実績値との差異理由〉

当社は前事業年度において、当社の連結子会社である株式会社きらぼし銀行より臨時配当を受領したこと等により、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(第1回第一種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2025年3月期	—	140.00	—	140.00	280.00
2026年3月期	—	193.00	—	193.00	386.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 1株当たりの払込金額 20,000円

3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

(1) 2025年3月期

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率 (※)

配当年率 = 日本円TIBOR + 1.1%

③ 日本円TIBOR

2024年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.29545%

④ 発行済株式数

750,000株

(2) 2026年3月期

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率 (※)

配当年率 = 日本円TIBOR + 1.1%

③ 日本円TIBOR

2025年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.82818%

④ 発行済株式数

750,000株

※ 配当年率は、%未満小数第3位まで算出し、その小数第3位を四捨五入

(第二種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2025年3月期	—	29.545	—	29.545	59.090
2026年3月期	—	82.818	—	82.818	165.636

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 1株当たりの払込金額 20,000円

3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

(1) 2025年3月期

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率

配当年率 = 日本円TIBOR + 0.0%

③ 日本円TIBOR

2024年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.29545%

④ 発行済株式数

2,000,000株

(2) 2026年3月期

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率

配当年率 = 日本円TIBOR + 0.0%

③ 日本円TIBOR

2025年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.82818%

④ 発行済株式数

2,000,000株

【添付資料の目次】

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	2～3

2. 企業集団の状況	3～4
------------------	-----

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
-----------------------------	---

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表	6～7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8～9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10～11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12～13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更に関する注記)	14
(セグメント情報等の注記)	14～18
(1株当たり情報の注記)	19～20
(重要な後発事象の注記)	21
(参考) 信託財産残高表	22

5. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表	23～24
(2) 損益計算書	25
(3) 株主資本等変動計算書	26
(4) 個別財務諸表に関する注記事項	27
(継続企業の前提に関する注記)	27

6. (参考) 株式会社きらぼし銀行の個別業績

(1) 個別業績の概要	28
(2) 貸借対照表	29～30
(3) 損益計算書	31～32

7. (参考) 株式会社U I 銀行の個別業績

(1) 個別業績の概要	33
(2) 貸借対照表	34～35
(3) 損益計算書	36

※ 2026年3月期決算説明資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の経営成績は、連結業績の大宗を占めるきらぼし銀行の経常利益が565億円（前年同期比+163億円）、当期純利益は396億円（同比+94億円）となりましたが、内部取引の消去など連結決算上の調整を行ったことにより、経常利益が604億円（前年同期比+188億円）、親会社株主に帰属する当期純利益は423億円（同比+109億円）となりました。なお、きらぼし銀行の経営成績における主な増減要因（前年同期比）は、以下のとおりです。

- ① 貸出金利息^{※1} : メイン化取引の推進、お客さまとのリレーション強化の取組み等により貸出金が増加、また、政策金利上昇の影響等により貸出金利回りも上昇し、前年同期比+126億円。
- ② 有価証券利息配当金 : ファンド収益の増加（+29億円）等により同比+30億円。
- ③ その他資金利益 : 金利上昇に伴う預金等利息の増加等により同比△103億円。
- ④ 非金利収支^{※2} : 円債及び外債のヘッジコストが減少したこと等により同比+31億円。
- ⑤ 経費 : ベースアップ等による人件費の増加や事務委託費等物件費の増加により同比△21億円。
- ⑥ 与信関係費用 : 事業再生支援や予兆管理強化等により費用発生は全般的に抑制された一方、一部大口先の信用悪化等により同比△9億円。
- ⑦ 債券・株式等関係損益 : 純投資及び政策保有株式の売却益の増加等により、同比+99億円。

※1. 貸出金利息には実質無利子・無担保融資等自治体から事後的に補給される利子補給金が含まれておりません。

※2. 非金利収支は、コア業務粗利益を構成する計数のうち、資金利益を除いたものです。
（非金利収支＝信託報酬＋役務取引等利益＋その他業務利益（国債等債券損益を除く））

※3 上表の前年同期比の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「△」で表示しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は前連結会計年度末比2,227億円増加し7兆3,173億円となり、純資産は利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末比521億円増加し4,234億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、預金は前連結会計年度末比778億円増加し6兆1,854億円、貸出金は前連結会計年度末比2,973億円増加し5兆2,775億円、有価証券は前連結会計年度末比433億円増加し8,780億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、貸出金の純増及び債券貸借取引受入担保金の純減による支出等を主因に1,378億円の支出となり、投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還による収入等が発生する一方、有価証券の取得による支出等により110億円の支出となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いによる支出等により53億円の支出となりました。この結果、現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比1,541億円減少し8,235億円となりました。

(4) 今後の見通し

2027年3月期の通期の連結業績予想につきましては、下記を見込んでおります。

連結経常利益 586億円

親会社株主に帰属する当期純利益 400億円

なお、上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、銀行持株会社としての公共性に鑑み、適正な内部留保による財務の健全性の確保に努めるとともに、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要施策の一つと位置付け、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本方針としております。

2026年3月期の配当金につきましては、普通株式1株当たり年間170円（中間配当金85円、期末配当金85円）とさせていただきます。また、第1回第一種優先株式につきましては、定款の定めに従い1株当たり年間386円（中間配当金193円、期末配当金193円）、第二種優先株式につきましては、同じく定款の定めに従い1株当たり年間

165.636円（中間配当金82.818円、期末配当金82.818円）の配当とさせていただきます。

2027年3月期につきましては、本日（2026年5月8日）公表いたしました「第1回第一種優先株式の普通株式への転換及び消却、株式の売出し並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」及び「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに株主優待制度の変更に関するお知らせ」に記載しております、第1回第一種優先株式の普通株式への転換5,498,532株、普通株式1株につき8株の割合による株式分割の影響を考慮し、普通株式1株当たり年間30円（中間配当金15円、期末配当金15円）とさせていただきます予定です。

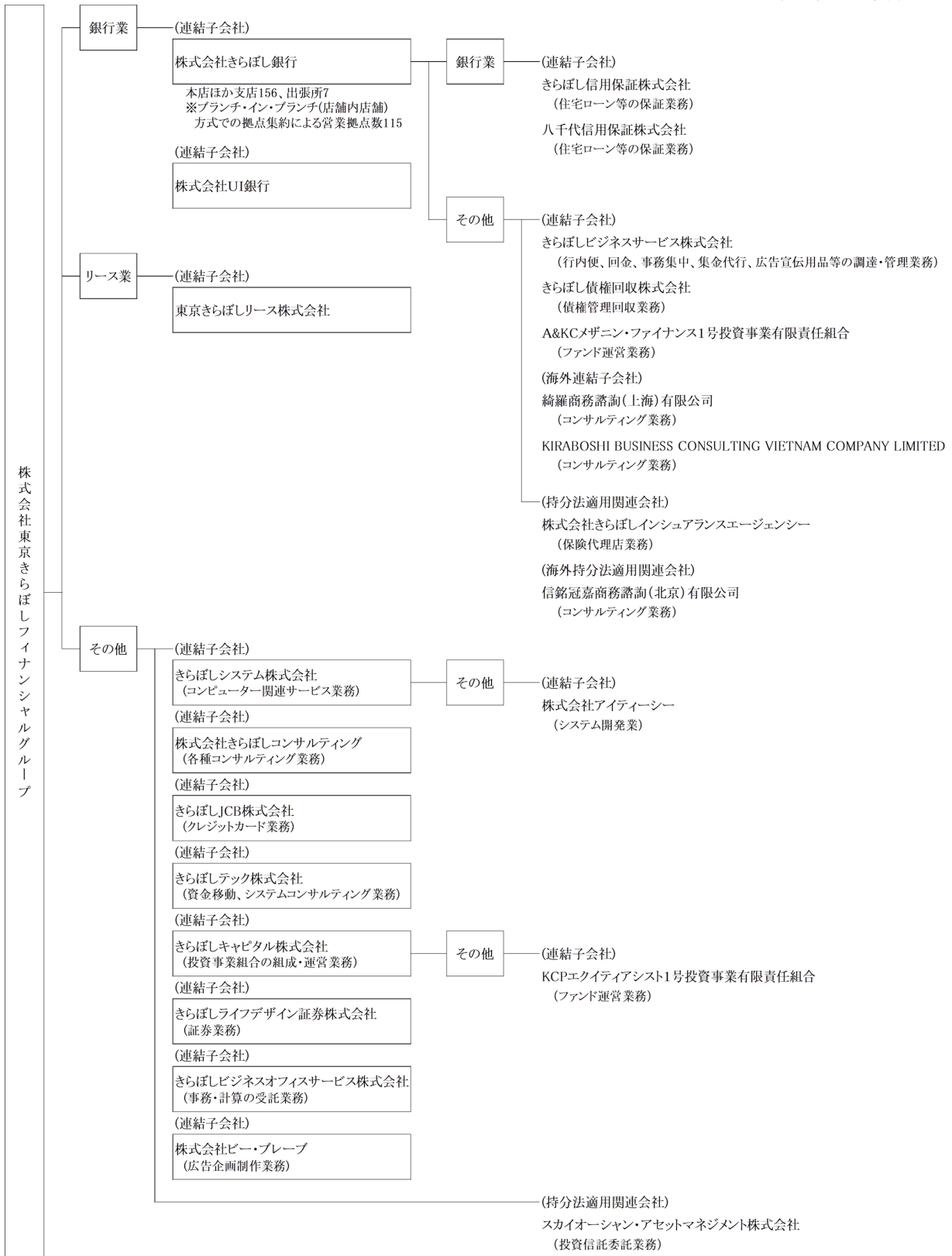
2. 企業集団の状況

当社グループは、当連結会計年度末現在、持株会社である当社のほか、株式会社きらぼし銀行、株式会社U I 銀行を含む連結子会社20社及び関連会社（持分法適用関連会社）3社で構成され、銀行業務を中心に、証券業務、リース業務、コンサルティング業務、FinTech、広告企画制作業務などの幅広いサービスを提供しております。

KCPエクイティアシスト1号投資事業有限責任組合及びA&KCメザニン・ファイナンス1号投資事業有限責任組合は、重要性が増したため、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

事業系統図によって示すと次のとおりであります。

(2026年3月31日現在)



上記以外の非連結子会社

- ・東京神奈川イノベーション応援1号投資事業有限責任組合
- ・きらぼしキャピタル・マーキュリアンベストメント投資事業有限責任組合
- ・きらぼしキャピタル夢・はばたき1号投資事業有限責任組合
- ・きらぼしキャピタル夢・はばたき2号投資事業有限責任組合
- ・きらぼしキャピタル東京Sparkle投資事業有限責任組合
- ・A&KCメディカル1号投資事業有限責任組合
- ・Keonイノベーション1号投資事業有限責任組合
- ・KCPパイアウト1号投資事業有限責任組合
- ・KCPエクイティアシスト2号投資事業有限責任組合

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは国内業務が中心であり、また連結財務諸表の期間比較可能性等を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
現金預け金	980,840	826,022
コールローン及び買入手形	9,829	8,709
買入金銭債権	70,165	67,755
商品有価証券	1,190	1,396
金銭の信託	5,132	6,434
有価証券	834,771	878,090
貸出金	4,980,179	5,277,513
外国為替	5,658	5,683
リース債権及びリース投資資産	31,098	35,126
その他資産	71,586	100,433
有形固定資産	58,439	58,976
建物	19,176	21,189
土地	31,672	30,423
リース資産	1,507	1,955
建設仮勘定	535	6
その他の有形固定資産	5,546	5,401
無形固定資産	16,195	14,999
ソフトウェア	11,054	9,753
のれん	3,916	3,416
リース資産	331	373
その他の無形固定資産	892	1,455
退職給付に係る資産	35,812	50,529
繰延税金資産	8,903	1,833
支払承諾見返	7,822	7,581
貸倒引当金	△23,061	△23,728
資産の部合計	7,094,566	7,317,357

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
預金	6,107,621	6,185,446
譲渡性預金	328,200	403,200
コールマネー及び売渡手形	27,196	26,879
債券貸借取引受入担保金	128,696	108,051
借入金	47,910	61,646
外国為替	560	816
社債	4,220	2,940
その他負債	67,190	92,175
賞与引当金	1,906	1,957
役員賞与引当金	180	234
株式報酬引当金	395	485
退職給付に係る負債	138	89
役員退職慰労引当金	49	111
ポイント引当金	114	95
睡眠預金払戻損失引当金	107	57
偶発損失引当金	873	855
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	66	1,294
支払承諾	7,822	7,581
負債の部合計	6,723,250	6,893,917
純資産の部		
資本金	27,500	27,500
資本剰余金	151,024	151,099
利益剰余金	199,225	235,927
自己株式	△1,309	△1,181
株主資本合計	376,440	413,344
その他有価証券評価差額金	△18,299	△17,624
繰延ヘッジ損益	2,498	9,974
土地再評価差額金	△242	△242
為替換算調整勘定	36	57
退職給付に係る調整累計額	10,845	17,860
その他の包括利益累計額合計	△5,161	10,025
新株予約権	9	9
非支配株主持分	28	60
純資産の部合計	371,316	423,440
負債及び純資産の部合計	7,094,566	7,317,357

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
経常収益	160,872	199,262
資金運用収益	96,393	113,347
貸出金利息	71,489	86,061
有価証券利息配当金	22,272	21,687
コールローン利息及び買入手形利息	240	225
預け金利息	1,727	4,579
その他の受入利息	663	793
信託報酬	362	433
役務取引等収益	24,240	28,826
その他業務収益	5,258	6,157
その他経常収益	34,617	50,496
償却債権取立益	41	1
その他の経常収益	34,575	50,495
経常費用	119,219	138,783
資金調達費用	10,275	26,262
預金利息	6,744	21,670
譲渡性預金利息	597	1,714
コールマネー利息及び売渡手形利息	134	195
債券貸借取引支払利息	2,009	1,969
借入金利息	471	594
社債利息	31	22
その他の支払利息	285	95
役務取引等費用	4,146	5,033
その他業務費用	13,164	12,081
営業経費	65,540	69,580
その他経常費用	26,092	25,825
貸倒引当金繰入額	2,790	4,044
その他の経常費用	23,302	21,781
経常利益	41,652	60,478
特別利益	4,252	505
固定資産処分益	4,252	505
特別損失	157	136
固定資産処分損	157	136
税金等調整前当期純利益	45,747	60,848
法人税、住民税及び事業税	12,600	17,802
法人税等調整額	1,785	678
法人税等合計	14,385	18,481
当期純利益	31,362	42,366
非支配株主に帰属する当期純利益	0	8
親会社株主に帰属する当期純利益	31,361	42,357

連結包括利益計算書

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	31,362	42,366
その他の包括利益	△19,819	15,186
その他有価証券評価差額金	△19,983	640
繰延ヘッジ損益	2,895	7,475
為替換算調整勘定	△3	20
退職給付に係る調整額	△2,715	7,014
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	34
包括利益	11,542	57,552
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	11,542	57,543
非支配株主に係る包括利益	0	8

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

株式会社東京さらぼしフィナンシャルグループ
(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	27,500	150,974	172,896	△936	350,434
当期変動額					
剰余金の配当			△5,032		△5,032
親会社株主に帰属する 当期純利益			31,361		31,361
自己株式の取得				△890	△890
自己株式の処分		49		517	567
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	49	26,329	△372	26,005
当期末残高	27,500	151,024	199,225	△1,309	376,440

	その他の包括利益累計額						新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評 価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調 整累計額	その他の 包括利益 累計額 合計			
当期首残高	1,696	△397	△242	40	13,561	14,658	9	27	365,129
当期変動額									
剰余金の配当									△5,032
親会社株主に帰属する 当期純利益									31,361
自己株式の取得									△890
自己株式の処分									567
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△19,995	2,895	—	△3	△2,715	△19,819	—	0	△19,819
当期変動額合計	△19,995	2,895	—	△3	△2,715	△19,819	—	0	6,186
当期末残高	△18,299	2,498	△242	36	10,845	△5,161	9	28	371,316

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	27,500	151,024	199,225	△1,309	376,440
当期変動額					
剰余金の配当			△5,655		△5,655
親会社株主に帰属する 当期純利益			42,357		42,357
自己株式の取得				△94	△94
自己株式の処分		74		222	297
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	74	36,701	128	36,904
当期末残高	27,500	151,099	235,927	△1,181	413,344

	その他の包括利益累計額						新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評 価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調 整累計額	その他の 包括利益 累計額 合計			
当期首残高	△18,299	2,498	△242	36	10,845	△5,161	9	28	371,316
当期変動額									
剰余金の配当									△5,655
親会社株主に帰属する 当期純利益									42,357
自己株式の取得									△94
自己株式の処分									297
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	675	7,475	—	20	7,014	15,186	—	32	15,219
当期変動額合計	675	7,475	—	20	7,014	15,186	—	32	52,123
当期末残高	△17,624	9,974	△242	57	17,860	10,025	9	60	423,440

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	45,747	60,848
減価償却費	7,370	7,464
のれん償却額	500	500
持分法による投資損益(△は益)	△11	△11
貸倒引当金の増減(△)	△3,802	667
賞与引当金の増減額(△は減少)	91	51
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4	54
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	6	89
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1,119	△14,717
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	56	△49
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△69	62
ポイント引当金の増減額(△は減少)	19	△19
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	△66	△50
偶発損失引当金の増減(△)	△12	△18
資金運用収益	△96,393	△113,347
資金調達費用	10,275	26,262
有価証券関係損益(△)	△3,183	△18,827
金銭の信託の運用損益(△は運用益)	76	△99
為替差損益(△は益)	△2,123	△11,567
固定資産処分損益(△は益)	△4,095	△369
商品有価証券の純増(△)減	△128	△206
貸出金の純増(△)減	△158,884	△292,444
預金の純増減(△)	277,326	71,917
譲渡性預金の純増減(△)	257,200	75,000
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	△6,026	13,735
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	△260	652
コールローン等の純増(△)減	△2,445	3,530
コールマネー等の純増減(△)	△627,672	△317
債券貸借取引受入担保金の純増減(△)	△26,555	△20,644
外国為替(資産)の純増(△)減	△800	△25
外国為替(負債)の純増減(△)	△452	256
リース債権及びリース投資資産の純増(△)減	△2,765	△4,027
普通社債発行及び償還による増減(△)	△1,628	△1,280
信託勘定借の純増減(△)	△609	—
資金運用による収入	89,861	102,226
資金調達による支出	△8,131	△22,937
その他	29,592	14,689
小計	△229,109	△122,949
法人税等の支払額	△8,648	△14,897
法人税等の還付額	380	33
営業活動によるキャッシュ・フロー	△237,377	△137,813

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△298,408	△399,050
有価証券の売却による収入	261,364	320,999
有価証券の償還による収入	104,424	74,729
金銭の信託の増加による支出	△700	△1,200
金銭の信託の減少による収入	8	—
有形固定資産の取得による支出	△3,473	△5,087
有形固定資産の除却による支出	△25	△141
有形固定資産の売却による収入	5,621	1,841
無形固定資産の取得による支出	△2,957	△3,122
無形固定資産の売却による収入	7	—
国庫補助金等による収入	11	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	65,873	△11,031
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△4,616	△5,226
自己株式の取得による支出	△56	△94
自己株式の売却による収入	4	4
自己株式取得のための金銭の信託の増減額（△は増加）	△835	—
リース債務の返済による支出	△3	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,507	△5,319
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△177,012	△154,164
現金及び現金同等物の期首残高	1,154,770	977,758
現金及び現金同等物の期末残高	977,758	823,593

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営会議等においてその業績を評価するため、経営成績を定期的に検討する銀行業セグメント及びリース業セグメントを対象としております。

銀行業セグメントでは、銀行の主要業務である預金業務、貸出業務、商品有価証券売買業務、有価証券投資業務、内国為替業務、外国為替業務、信託業務などを行っております。リース業セグメントでは、金融関連業務としてのリース業務を行っております。報告セグメントに含まれていない事業については「その他」に集約して一括して計上しております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。

報告セグメントの利益は経常利益ベースの数値であり、また、セグメント間の内部経常収益は第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	130,528	14,362	144,890	16,639	161,530
セグメント間の内部経常収益	180	891	1,072	16,677	17,750
計	130,709	15,254	145,963	33,317	179,280
セグメント利益	39,663	423	40,086	12,011	52,097
セグメント資産	7,049,328	48,110	7,097,438	271,984	7,369,422
セグメント負債	6,672,559	44,396	6,716,956	55,235	6,772,191
その他の項目					
減価償却費	6,765	373	7,138	239	7,378
のれんの償却額	—	—	—	500	500
資金運用収益	96,739	36	96,776	9,674	106,451
資金調達費用	9,868	199	10,068	500	10,568
持分法投資利益	—	—	—	11	11
特別利益	3,346	—	3,346	—	3,346
（固定資産処分益）	3,346	—	3,346	—	3,346
特別損失	209	—	209	13	222
（固定資産処分損）	209	—	209	13	222
持分法適用会社への投資額	—	—	—	6,026	6,026
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	11,552	953	12,505	581	13,086

（注） 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティングサービス、コンピュータ関連サービス、情報提供サービス業、クレジットカード業及び債権管理回収業等があります。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	162,069	15,843	177,912	21,447	199,360
セグメント間の内部経常収益	4,474	973	5,447	13,667	19,115
計	166,543	16,816	183,360	35,115	218,475
セグメント利益	57,540	472	58,012	12,556	70,568
セグメント資産	7,265,768	52,129	7,317,898	304,369	7,622,267
セグメント負債	6,830,140	47,937	6,878,078	61,419	6,939,498
その他の項目					
減価償却費	6,839	385	7,224	246	7,471
のれんの償却額	—	—	—	500	500
資金運用収益	117,393	54	117,447	6,332	123,779
資金調達費用	25,764	355	26,120	682	26,802
持分法投資利益	—	—	—	11	11
特別利益	360	—	360	—	360
（固定資産処分益）	360	—	360	—	360
特別損失	132	—	132	3	136
（固定資産処分損）	132	—	132	3	136
持分法適用会社への投資額	—	—	—	6,073	6,073
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	7,934	869	8,803	462	9,265

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティングサービス、コンピュータ関連サービス、情報提供サービス業、クレジットカード業及び債権管理回収業等があります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と連結損益計算書の経常収益計上額

(単位：百万円)

経常収益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	145,963	183,360
「その他」の区分の経常収益	33,317	35,115
パーチェス法による調整	△658	△98
セグメント間取引消去	△17,750	△19,115
連結損益計算書の経常収益	160,872	199,262

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と連結損益計算書の経常利益計上額

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	40,086	58,012
「その他」の区分の利益	12,011	12,556
パーチェス法による調整	△786	△233
セグメント間取引消去	△9,659	△9,857
連結損益計算書の経常利益	41,652	60,478

(3) 報告セグメントの資産の合計額と連結貸借対照表の資産計上額

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	7,097,438	7,317,898
「その他」の区分の資産	271,984	304,369
パーチェス法による調整	△103,353	△103,196
セグメント間取引消去	△171,502	△201,713
連結貸借対照表の資産合計	7,094,566	7,317,357

(4) 報告セグメントの負債の合計額と連結貸借対照表の負債計上額

(単位：百万円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,716,956	6,878,078
「その他」の区分の負債	55,235	61,419
パーチェス法による調整	△1,245	△1,186
セグメント間取引消去	△47,695	△44,393
連結貸借対照表の負債合計	6,723,250	6,893,917

(5) 報告セグメントのその他の項目の合計額と当該事項に相当する科目の連結財務諸表計上額

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	7,138	7,224	239	246	△7	△6	7,370	7,464
のれんの償却額	—	—	500	500	—	—	500	500
資金運用収益	96,776	117,447	9,674	6,332	△10,057	△10,432	96,393	113,347
資金調達費用	10,068	26,120	500	682	△293	△539	10,275	26,262
持分法投資利益	—	—	11	11	—	—	11	11
特別利益	3,346	360	—	—	905	145	4,252	505
(固定資産処分益)	3,346	360	—	—	905	145	4,252	505
特別損失	209	132	13	3	△65	—	157	136
(固定資産処分損)	209	132	13	3	△65	—	157	136
持分法適用会社への投資額	—	—	6,026	6,073	—	—	6,026	6,073
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	12,505	8,803	581	462	△755	△1,206	12,331	8,058

(注) 調整額は次のとおりであります。

資金運用収益の調整額△10,432百万円は、パーチェス法による調整額△114百万円、セグメント間取引消去△10,317百万円であります。

資金調達費用の調整額△539百万円は、セグメント間取引消去であります。

固定資産処分益の調整額145百万円は、パーチェス法による調整額であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△1,206百万円は、主として、リース業以外のセグメントにおいてリース業セグメントとの契約により取得したリース物件取得額であります。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	10,458円15銭	12,153円85銭
1株当たり当期純利益	1,027円69銭	1,379円11銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	692円41銭	1,025円98銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額	百万円	371,316	423,440
純資産の部の合計額から控除する金額	百万円	55,201	55,380
うち優先株式払込額	百万円	55,000	55,000
うち優先配当額	百万円	164	310
うち新株予約権	百万円	9	9
うち非支配株主持分	百万円	28	60
普通株式に係る期末の純資産額	百万円	316,114	368,059
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数	千株	30,226	30,283

(注) 2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	31,361	42,357
普通株主に帰属しない金額	百万円	328	620
うち優先配当額	百万円	328	620
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	31,033	41,736
普通株式の期中平均株式数	千株	30,197	30,263
潜在株式調整後1株当たり当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	百万円	328	620
うち優先配当額	百万円	328	620
普通株式増加数	千株	15,096	11,021
うち優先株式	千株	15,093	11,018
うち新株予約権	千株	3	3
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—	—

(注) 3. 株主資本において自己株式として計上されている株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めており、また、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

前連結会計年度の1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、241千株であり、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、266千株であります。

当連結会計年度の1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、196千株であり、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、213千株であります。

(重要な後発事象の注記)

(第1回第一種優先株式の普通株式への転換及び消却)

当社が発行する第1回第一種優先株式の全部を保有する三井住友信託銀行株式会社より、その保有する当該優先株式の全部について、第1回第一種優先株式に係る普通株式を対価する取得請求権に基づき、第1回取得請求日と第2回取得請求日の2回に分けて普通株式を対価とする取得請求を行う予定である旨の連絡を受けております。これに伴い、普通株式への転換がなされます。

なお、2026年5月8日開催の取締役会において、会社法第178条に基づき、第2回取得請求日に普通株式を対価とする取得請求が行われて当社が当該優先株式の全部を取得したことを前提に、当社が取得する当該優先株式の全部を第2回取得請求日付で消却することを決議しております。

詳細は、本日(2026年5月8日)別途開示いたしました「第1回第一種優先株式の当社普通株式への転換及び消却、株式の売出し並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」をご覧ください。

(第二種優先株式の取得及び消却)

当社は、2026年5月8日開催の取締役会において、第二種優先株式に係る金銭対価の取得条項に基づき、第二種優先株式の全部を取得すること、及び会社法第178条に基づき第二種優先株式の全部を消却することを決議しました。

詳細は、本日(2026年5月8日)別途開示いたしました「第二種優先株式の取得及び消却に関するお知らせ」をご覧ください。

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2026年5月8日開催の取締役会において、普通株式に係る株式分割を行うこと及び2026年6月24日開催予定の当社第12回定時株主総会に株式分割に伴う定款の一部変更を付議することについて決議しました。

詳細は、本日(2026年5月8日)別途開示いたしました「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに株主優待制度の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

(参考)

信託財産残高表
(2026年3月31日現在)

(単位：百万円)

資産	金額	負債	金額
貸出金	4,555	特定金銭信託	4,726
証書貸付	4,555	金銭債権の信託	50,764
金銭債権	50,586	包括信託	123,709
その他の金銭債権	50,586		
有形固定資産	119,784		
動産	669		
不動産	119,114		
無形固定資産	509		
不動産の賃借権	509		
その他債権	0		
その他債権	0		
現金預け金	3,765		
預け金	3,765		
合計	179,201	合計	179,201

5. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ(個別)
(単位:百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,967	1,296
未収入金	1	1
前払費用	42	65
未収還付法人税等	4	—
仮払金	3	3
預け金	32	65
流動資産合計	6,053	1,432
固定資産		
無形固定資産		
ソフトウェア	209	158
ソフトウェア仮勘定	0	—
無形固定資産合計	209	158
投資その他の資産		
投資有価証券	524	520
関係会社株式	223,785	233,285
敷金	3	3
繰延税金資産	55	43
投資その他の資産合計	224,370	233,853
固定資産合計	224,580	234,012
資産の部合計	230,633	235,445

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ(個別)
(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	5,100	4,900
1年内返済予定の長期借入金	177	10,267
未払金	38	91
未払費用	62	48
未払配当金	114	126
未払法人税等	13	72
預り金	96	129
仮受金	9	9
賞与引当金	84	90
役員賞与引当金	50	75
流動負債合計	5,746	15,810
固定負債		
株式報酬引当金	117	162
長期借入金	20,703	14,936
固定負債合計	20,820	15,098
負債の部合計	26,566	30,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,500	27,500
資本剰余金		
資本準備金	56,219	56,219
その他資本剰余金	110,306	110,381
資本剰余金合計	166,526	166,601
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	11,341	11,607
利益剰余金合計	11,341	11,607
自己株式	△1,309	△1,181
株主資本合計	204,057	204,526
新株予約権	9	9
純資産の部合計	204,066	204,536
負債及び純資産の部合計	230,633	235,445

(2) 損益計算書

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ(個別)
(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業収益		
関係会社受取配当金	9,644	5,980
関係会社受入手数料	2,600	3,176
営業収益合計	12,245	9,156
営業費用		
販売費及び一般管理費	2,553	2,875
営業費用合計	2,553	2,875
営業利益	9,691	6,280
営業外収益		
受取利息	2	10
受取配当金	3	26
雑収入	9	28
営業外収益合計	15	65
営業外費用		
支払利息	208	347
雑損失	2	1
営業外費用合計	210	348
経常利益	9,497	5,998
税引前当期純利益	9,497	5,998
法人税、住民税及び事業税	7	63
法人税等調整額	△1	12
法人税等合計	5	76
当期純利益	9,491	5,922

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ(個別)

(単位:百万円)

	株主資本								新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計				
当期首残高	27,500	56,219	110,257	166,476	6,881	6,881	△936	199,922	9	199,931
当期変動額										
剰余金の配当					△5,032	△5,032		△5,032		△5,032
当期純利益					9,491	9,491		9,491		9,491
自己株式の取得							△890	△890		△890
自己株式の処分			49	49			517	567		567
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									-	-
当期変動額合計	-	-	49	49	4,459	4,459	△372	4,135	-	4,135
当期末残高	27,500	56,219	110,306	166,526	11,341	11,341	△1,309	204,057	9	204,066

当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ(個別)

(単位:百万円)

	株主資本								新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計				
当期首残高	27,500	56,219	110,306	166,526	11,341	11,341	△1,309	204,057	9	204,066
当期変動額										
剰余金の配当					△5,655	△5,655		△5,655		△5,655
当期純利益					5,922	5,922		5,922		5,922
自己株式の取得							△94	△94		△94
自己株式の処分			74	74			222	297		297
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									-	-
当期変動額合計	-	-	74	74	266	266	128	469	-	469
当期末残高	27,500	56,219	110,381	166,601	11,607	11,607	△1,181	204,526	9	204,536

(4) 個別財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

6. (参考) 株式会社きらぼし銀行の個別業績

(1) 個別業績の概要

2026年5月8日

会社名 株式会社きらぼし銀行
 代表者 (役職名)取締役頭取 (氏名)渡邊 壽信 URL <https://www.kiraboshibank.co.jp>
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画部長 (氏名)中村 太樹 TEL 03-6447-5799

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	158,132	22.8	56,576	40.5	39,693	31.1
2025年3月期	128,762	11.5	40,241	8.8	30,275	△0.0

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期	6,621,558	396,228	5.9
2025年3月期	6,764,169	352,972	5.2

(参考) 自己資本 2026年3月期 396,228百万円 2025年3月期 352,972百万円

(注) 自己資本とは、期末純資産の部合計の金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示(2006年金融庁告示第19号)に定める自己資本比率ではありません。

(2) 貸借対照表

株式会社きらぼし銀行

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
現金預け金	770,227	561,800
現金	40,278	34,836
預け金	729,948	526,963
コールローン	9,829	8,709
買入金銭債権	55,673	50,829
商品有価証券	1,190	1,396
商品国債	79	14
商品地方債	1,110	1,382
金銭の信託	5,132	6,434
有価証券	829,519	818,154
国債	98,478	137,135
地方債	100,304	103,309
社債	212,320	164,548
株式	51,905	57,587
その他の証券	366,509	355,573
貸出金	4,953,017	5,014,524
割引手形	11,933	8,166
手形貸付	118,676	115,585
証書貸付	4,364,192	4,411,714
当座貸越	458,215	479,058
外国為替	5,658	5,683
外国他店預け	3,611	3,613
買入外国為替	43	7
取立外国為替	2,003	2,062
その他資産	43,090	65,003
前払費用	1,303	1,144
未収収益	7,692	7,706
先物取引差入証拠金	11,139	25,981
先物取引差金勘定	12	—
金融派生商品	6,636	20,665
金融商品等差入担保金	80	1,555
その他の資産	16,225	7,951
有形固定資産	63,263	63,694
建物	19,035	21,061
土地	38,487	37,092
リース資産	1,405	1,841
建設仮勘定	535	6
その他の有形固定資産	3,799	3,693
無形固定資産	8,126	6,813
ソフトウェア	7,177	5,704
リース資産	323	261
その他の無形固定資産	625	847
前払年金費用	19,611	24,191
繰延税金資産	11,336	6,054
支払承諾見返	7,832	7,591
貸倒引当金	△19,342	△19,325
資産の部合計	6,764,169	6,621,558

株式会社きらぼし銀行

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
預金	5,467,869	5,406,026
当座預金	323,266	313,051
普通預金	3,400,088	3,420,884
貯蓄預金	27,657	26,534
通知預金	35,465	29,707
定期預金	1,595,619	1,543,269
定期積金	32,637	29,639
その他の預金	53,134	42,939
譲渡性預金	328,200	403,200
コールマネー	27,196	26,879
債券貸借取引受入担保金	128,696	108,051
借入金	400,228	201,064
借入金	400,228	201,064
外国為替	560	816
外国他店預り	1	1
売渡外国為替	344	209
未払外国為替	213	604
その他負債	46,570	67,729
未払法人税等	8,234	11,217
未払費用	4,925	6,795
前受収益	5,067	5,311
給付補填備金	11	23
先物取引差金勘定	53	11,198
金融派生商品	811	2,186
金融商品等受入担保金	253	130
リース債務	1,810	2,169
資産除去債務	999	1,254
その他の負債	24,402	27,443
賞与引当金	1,504	1,520
役員賞与引当金	66	75
株式報酬引当金	236	273
ポイント引当金	2	2
睡眠預金払戻損失引当金	107	57
偶発損失引当金	873	855
再評価に係る繰延税金負債	1,251	1,186
支払承諾	7,832	7,591
負債の部合計	6,411,196	6,225,329
純資産の部		
資本金	43,734	43,734
資本剰余金	166,173	166,173
資本準備金	32,922	32,922
その他資本剰余金	133,250	133,250
利益剰余金	161,254	195,124
利益準備金	11,259	11,259
その他利益剰余金	149,995	183,864
別途積立金	18,100	18,100
繰越利益剰余金	131,895	165,764
株主資本合計	371,162	405,032
その他有価証券評価差額金	△18,159	△16,302
繰延ヘッジ損益	2,498	9,974
土地再評価差額金	△2,530	△2,475
評価・換算差額等合計	△18,190	△8,803
純資産の部合計	352,972	396,228
負債及び純資産の部合計	6,764,169	6,621,558

(3) 損益計算書

株式会社きらぼし銀行

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
経常収益	128,762	158,132
資金運用収益	96,347	114,337
貸出金利息	71,539	84,218
有価証券利息配当金	22,231	25,292
コールローン利息	240	225
預け金利息	1,541	3,810
金利スワップ受入利息	139	149
その他の受入利息	655	640
信託報酬	362	433
役務取引等収益	15,354	15,902
受入為替手数料	2,693	2,769
その他の役務収益	12,661	13,132
その他業務収益	5,166	4,657
国債等債券売却益	4,285	1,599
金融派生商品収益	865	3,057
その他の業務収益	16	—
その他経常収益	11,530	22,801
償却債権取立益	41	1
株式等売却益	11,091	22,356
金銭の信託運用益	—	101
その他の経常収益	397	342
経常費用	88,520	101,556
資金調達費用	11,131	23,759
預金利息	4,963	15,003
譲渡性預金利息	597	1,714
コールマネー利息	134	195
債券貸借取引支払利息	2,009	1,969
借入金利息	3,052	4,689
金利スワップ支払利息	281	93
その他の支払利息	92	93
役務取引等費用	4,444	4,583
支払為替手数料	518	549
その他の役務費用	3,925	4,034
その他業務費用	13,165	11,914
外国為替売買損	2,421	1,781
商品有価証券売買損	45	52
国債等債券売却損	10,674	9,947
その他の業務費用	24	132
営業経費	53,500	55,503
その他経常費用	6,278	5,794
貸倒引当金繰入額	2,413	3,292
貸出金償却	—	0
株式等売却損	1,093	505
株式等償却	75	—
金銭の信託運用損	76	2
その他の経常費用	2,618	1,992
経常利益	40,241	56,576

株式会社きらぼし銀行

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
特別利益	3,346	360
固定資産処分益	3,346	360
特別損失	191	129
固定資産処分損	191	129
税引前当期純利益	43,397	56,807
法人税、住民税及び事業税	11,205	16,164
法人税等調整額	1,916	949
法人税等合計	13,122	17,114
当期純利益	30,275	39,693

7. (参考) 株式会社UI銀行の個別業績

(1) 個別業績の概要

2026年5月8日

会社名 株式会社UI銀行
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)安田 信幸 URL <https://www.uibank.co.jp>
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長 (氏名)福田 敦士 TEL 03-6271-5979

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	13,046	181.7	133	—	120	—
2025年3月期	4,629	65.2	△1,472	—	△1,494	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期	829,502	18,927	2.2
2025年3月期	707,757	10,753	1.5

(参考) 自己資本 2026年3月期 18,927百万円 2025年3月期 10,753百万円

(注) 自己資本とは、期末純資産の部合計の金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で算出してあります。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示(2006年金融庁告示第19号)に定める自己資本比率ではありません。

(2) 貸借対照表

株式会社U I 銀行
(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
現金預け金	236,891	270,506
預け金	236,891	270,506
有価証券	7,433	78,368
国債	7,433	64,417
その他の証券	—	13,950
貸出金	455,959	468,640
証書貸付	55,178	267,508
当座貸越	400,781	201,131
その他資産	3,984	8,069
未決済為替貸	1,501	515
前払費用	818	828
未収収益	319	458
その他の資産	1,345	6,267
有形固定資産	33	27
リース資産	—	5
その他の有形固定資産	33	22
無形固定資産	3,617	3,945
ソフトウェア	3,419	3,507
その他の無形固定資産	197	437
貸倒引当金	△161	△54
資産の部合計	707,757	829,502

株式会社U I 銀行

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
預金	695,229	805,988
普通預金	44,857	134,480
定期預金	648,697	670,254
その他の預金	1,674	1,254
その他負債	1,767	4,577
未決済為替借	380	831
未払法人税等	62	109
未払費用	1,203	2,811
前受収益	—	62
リース債務	—	5
その他の負債	122	757
役員賞与引当金	4	5
株式報酬引当金	3	3
負債の部合計	697,004	810,575
純資産の部		
資本金	8,875	13,625
資本剰余金	8,425	13,175
資本準備金	8,425	13,175
利益剰余金	△6,546	△6,426
その他利益剰余金	△6,546	△6,426
繰越利益剰余金	△6,546	△6,426
株主資本合計	10,753	20,373
その他有価証券評価差額金	—	△1,446
評価・換算差額等合計	—	△1,446
純資産の部合計	10,753	18,927
負債及び純資産の部合計	707,757	829,502

(3) 損益計算書

株式会社U I 銀行

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
経常収益	4,629	13,046
資金運用収益	3,505	7,858
貸出金利息	3,154	6,428
有価証券利息配当金	109	605
預け金利息	241	824
役務取引等収益	917	3,955
受入為替手数料	30	35
その他の役務収益	886	3,919
その他業務収益	204	1,079
国債等債券売却益	204	1,079
その他経常収益	3	153
貸倒引当金戻入益	—	107
その他の経常収益	3	45
経常費用	6,102	12,912
資金調達費用	1,849	6,766
預金利息	1,849	6,766
コールマネー利息	0	—
その他の支払利息	—	0
役務取引等費用	169	1,100
支払為替手数料	51	81
その他の役務費用	117	1,018
その他業務費用	2	69
外国為替売買損	2	1
国債等債券売却損	—	68
営業経費	3,956	4,873
その他経常費用	124	103
貸倒引当金繰入額	25	—
その他の経常費用	98	103
経常利益又は経常損失 (△)	△1,472	133
特別利益	—	—
特別損失	17	—
固定資産処分損	17	—
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△1,490	133
法人税、住民税及び事業税	4	12
法人税等合計	4	12
当期純利益又は当期純損失 (△)	△1,494	120



東京きらぼしフィナンシャルグループ
2026年3月期決算説明資料



東京きらぼしフィナンシャルグループ

【目次】

I 2026年3月期決算の概況

1. 損益状況	1~3
2. 業務純益	4
3. 利鞘	4
4. ROE	5
5. OHR	5
6. 有価証券関係損益	6
7. 自己資本比率(国内基準)	7~8

II 貸出金等の状況

1. リスク管理債権及び金融再生法開示債権	9~12
2. 金融再生法開示債権の保全状況	13
3. 貸倒引当金の状況	14
4. 開示債権の状況	15~16
5. 業種別貸出金等	17~19
6. 貸出金・預金残高等の状況	20~25

III 有価証券の評価損益

1. 評価基準	26
2. 評価損益	26

I. 2026年3月期決算の概況

1. 損益状況

(1) 東京きらぼしフィナンシャルグループ

【連結】

2026年3月期の経常収益は、前年同期比38,389百万円増加の199,262百万円、経常利益は前年同期比18,825百万円増加の60,478百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比10,995百万円増加の42,357百万円となりました。

(単位：百万円)

		2026年 3月期	2025年 3月期比	2025年 3月期
連結経常収益	1	199,262	38,389	160,872
連結粗利益	2	105,387	6,719	98,668
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	3	(112,704)	(7,216)	(105,488)
資金利益	4	87,084	967	86,117
信託報酬	5	433	70	362
役務取引等利益	6	23,793	3,698	20,094
その他業務利益	7	△5,924	1,982	△7,906
経費(除く臨時処理分)	8	70,760	4,232	66,528
与信関係費用	9	4,634	1,281	3,353
貸出金償却	10	7	△12	19
個別貸倒引当金繰入額	11	4,694	810	3,884
その他与信関係費用	12	△68	483	△551
株式等関係損益	13	26,144	16,141	10,003
持分法による投資損益	14	11	△0	11
その他	15	4,329	1,478	2,850
経常利益	16	60,478	18,825	41,652
特別損益	17	369	△3,725	4,095
税金等調整前当期純利益	18	60,848	15,100	45,747
法人税等合計	19	18,481	4,095	14,385
法人税、住民税及び事業税	20	17,802	5,202	12,600
法人税等調整額	21	678	△1,106	1,785
当期純利益	22	42,366	11,004	31,362
非支配株主に帰属する当期純利益	23	8	8	0
親会社株主に帰属する当期純利益	24	42,357	10,995	31,361

(連結対象会社数)

(単位：社)

連結子会社数	25	20	2	18
持分法適用会社数	26	3	—	3

(2) きらぼし銀行

【単体】

2026年3月期の単体業績は、ベースアップ等による人件費、事務委託費等の物件費や与信関係費用が増加するも、メイン化取引の推進やお客さまとのリレーション強化の取組み等による貸出金利の増加に加え、ファンド収益、純投資や政策保有株式の売却益が増加したこと等により、経常利益が前年同期比16,334百万円増加の56,576百万円、当期純利益は前年同期比9,418百万円増加の39,693百万円となりました。

(単位：百万円)

		2026年 3月期	2025年 3月期比	2025年 3月期
経常収益	1	158,132	29,370	128,762
業務粗利益	2	95,092	6,594	88,498
(除く国債等債券損益(5勘定戻))【コア業務粗利益】	3	(103,440)	(8,552)	(94,887)
国内業務粗利益	4	89,255	6,107	83,148
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	5	(97,774)	(8,609)	(89,164)
資金利益	6	83,191	6,208	76,983
信託報酬	7	433	70	362
役務取引等利益	8	11,035	330	10,704
その他業務利益	9	△5,404	△502	△4,902
国際業務粗利益	10	5,836	486	5,349
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	11	(5,666)	(△56)	(5,722)
資金利益	12	7,406	△833	8,240
役務取引等利益	13	282	76	206
その他業務利益	14	△1,853	1,243	△3,096
経費(除く臨時処理分)	15	57,107	2,136	54,971
人件費	16	22,015	455	21,559
物件費	17	29,652	1,374	28,277
税金	18	5,440	306	5,133
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)【実質業務純益】	19	37,984	4,457	33,526
(除く国債等債券損益(5勘定戻))【コア業務純益】	20	(46,332)	(6,416)	(39,916)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	21	(46,225)	(6,313)	(39,911)
一般貸倒引当金繰入額 ①	22	△701	374	△1,075
業務純益	23	38,685	4,083	34,602
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	24	(△8,347)	(△1,958)	(△6,389)
臨時損益	25	17,890	12,251	5,639
不良債権処理額 ②	26	4,564	539	4,025
貸出金償却	27	0	0	—
個別貸倒引当金繰入額	28	3,993	504	3,489
債権売却損(△:益)	29	—	51	△51
偶発損失引当金繰入額	30	△18	△5	△12
信用保証協会責任共有制度負担金	31	559	△21	581
その他不良債権処理額	32	28	10	18
貸倒引当金戻入益 ③	33	—	—	—
償却債権取立益	34	1	△39	41
株式等関係損益	35	21,850	11,928	9,922
株式等売却益	36	22,356	11,264	11,091
株式等売却損	37	505	△588	1,093
株式等償却	38	—	△75	75
その他臨時損益	39	603	901	△298
経常利益	40	56,576	16,334	40,241

(単位：百万円)

		2026年 3月期	2025年 3月期比	2025年 3月期
特別損益	41	230	△2,925	3,155
税引前当期純利益	42	56,807	13,409	43,397
法人税等合計	43	17,114	3,991	13,122
法人税、住民税及び事業税	44	16,164	4,958	11,205
法人税等調整額	45	949	△967	1,916
当期純利益	46	39,693	9,418	30,275
与信関係費用	①+②-③	3,863	913	2,950

【連結】

(単位：百万円)

		2026年 3月期	2025年 3月期比	2025年 3月期
経常収益	48	165,862	29,896	135,966
経常利益	49	57,791	16,331	41,460
親会社株主に帰属する当期純利益	50	40,445	9,348	31,097

2. 業務純益

きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月期	2025年	
		3月期比	3月期
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	37,984	4,457	33,526
職員一人当たり（千円）	17,849	2,589	15,260
業務純益	38,685	4,083	34,602
職員一人当たり（千円）	18,179	2,429	15,749
コア業務純益	46,332	6,416	39,916
職員一人当たり（千円）	21,772	3,604	18,168

(注) 職員には、執行役員を含み、臨時雇用、嘱託及び出向者を除いた期中の平均人数を採用しております。

3. 利鞘

きらぼし銀行【単体】

<全体>

(単位：%)

	2026年 3月期	2025年	
		3月期比	3月期
資金運用利回 (A)	1.73	0.22	1.51
貸出金利回 (a)	1.70	0.22	1.47
有価証券利回	2.91	0.50	2.40
資金調達原価 (B)	1.27	0.19	1.07
預金等利回 (b)	0.28	0.18	0.09
外部負債利回	1.18	0.25	0.93
預貸金利回り差 (a) - (b)	1.41	0.03	1.37
総資金利鞘 (A) - (B)	0.46	0.02	0.44

(注) 貸出金利回りの算出基礎となる貸出金利息には、利子補給金が含まれております。

<国内業務部門>

(単位：%)

	2026年 3月期	2025年	
		3月期比	3月期
資金運用利回 (A)	1.60	0.25	1.35
貸出金利回 (a)	1.63	0.24	1.39
有価証券利回	2.90	0.63	2.26
資金調達原価 (B)	1.25	0.22	1.02
預金等利回 (b)	0.27	0.19	0.08
外部負債利回	0.97	0.32	0.65
預貸金利回り差 (a) - (b)	1.35	0.04	1.30
総資金利鞘 (A) - (B)	0.35	0.02	0.33

(注) 貸出金利回りの算出基礎となる貸出金利息には、利子補給金が含まれております。

4. ROE

東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：%)

	2026年 3月期	2025年 3月期比	
		2025年 3月期	2025年 3月期
親会社株主に帰属する当期純利益ベース	10.66	2.14	8.51

$$(注) \text{ ROE【連結】} = \frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益等}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) \div 2} \times 100$$

きらぼし銀行【単体】

(単位：%)

	2026年 3月期	2025年 3月期比	
		2025年 3月期	2025年 3月期
業務純益ベース（一般貸倒引当金繰入前）	10.14	0.59	9.54
業務純益ベース	10.32	0.48	9.84
コア業務純益ベース	12.36	1.00	11.35
当期純利益ベース	10.59	1.98	8.61

$$(注) \text{ ROE【単体】} = \frac{\text{当期純利益等}}{(\text{期首純資産} + \text{期末純資産}) \div 2} \times 100$$

きらぼし銀行【連結】

(単位：%)

	2026年 3月期	2025年 3月期比	
		2025年 3月期	2025年 3月期
業務純益ベース（一般貸倒引当金繰入前）	9.03	0.23	8.80
業務純益ベース	9.20	0.11	9.09
コア業務純益ベース	11.14	0.61	10.53
親会社株主に帰属する当期純利益ベース	10.22	1.80	8.41

$$(注) \text{ ROE【連結】} = \frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益等}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) \div 2} \times 100$$

5. OHR

きらぼし銀行【単体】

(単位：%)

	2026年 3月期	2025年 3月期比	
		2025年 3月期	2025年 3月期
コア業務粗利益ベース	55.20	△2.72	57.93
業務粗利益ベース	60.05	△2.06	62.11

$$(注) \text{ OHR} = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}} \times 100$$

6. 有価証券関係損益
きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月期	2025年 3月期比	
		2025年 3月期	2025年 3月期
国債等債券損益	△8,347	△1,958	△6,389
国債等債券売却益	1,599	△2,685	4,285
国債等債券償還益	—	—	—
国債等債券売却損	9,947	△727	10,674
国債等債券償還損	—	—	—
国債等債券償却	—	—	—
株式等損益	21,850	11,928	9,922
株式等売却益	22,356	11,264	11,091
株式等売却損	505	△588	1,093
株式等償却	—	△75	75

7. 自己資本比率（国内基準）

（1）東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

（単位：百万円、％）

		2026年	2025年	2025年
		3月末	3月末比	3月末
(1) 自己資本比率	(4) ÷ (5)	9.54	0.80	8.74
(2) コア資本に係る基礎項目		432,374	43,178	389,196
(3) コア資本に係る調整項目		46,707	9,297	37,410
(4) 自己資本	(2) - (3)	385,666	33,880	351,786
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額		410,443	36,757	373,686
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		4,004	△614	4,618
(5) リスク・アセット等		4,038,537	17,018	4,021,519
(6) 総所要自己資本額	(5) × 4%	161,541	680	160,860

（2）きらぼし銀行【単体】

（単位：百万円、％）

		2026年	2025年	2025年
		3月末	3月末比	3月末
(1) 自己資本比率	(4) ÷ (5)	9.10	△0.01	9.12
(2) コア資本に係る基礎項目		365,854	△6,945	372,800
(3) コア資本に係る調整項目		21,511	2,266	19,244
(4) 自己資本	(2) - (3)	344,342	△9,212	353,555
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額		362,073	△6,280	368,353
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		3,781	△665	4,446
(5) リスク・アセット等		3,781,294	△94,737	3,876,031
(6) 総所要自己資本額	(5) × 4%	151,251	△3,789	155,041

※自己資本比率の計算上、2026年5月20日に予定しているきらぼし銀行から当社への配当金の支払額42,959百万円を自己資本から控除しているため、2025年3月末比で自己資本比率が低下しています。なお、きらぼし銀行から当社への配当につきましては、本日(2026年5月8日)別途開示いたしました「連結子会社からの配当金受領に関するお知らせ」をご覧ください。

(3) きらぼし銀行【連結】

(単位：百万円、%)

		2026年 3月末	2025年 3月末比	2025年 3月末
(1) 自己資本比率	(4) ÷ (5)	9.18	△0.01	9.19
(2) コア資本に係る基礎項目		390,884	748	390,136
(3) コア資本に係る調整項目		41,562	9,177	32,384
(4) 自己資本	(2) - (3)	349,322	△8,429	357,751
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額		368,925	△5,528	374,453
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		3,866	△669	4,535
(5) リスク・アセット等		3,801,612	△87,052	3,888,664
(6) 総所要自己資本額	(5) × 4%	152,064	△3,482	155,546

※自己資本比率の計算上、2026年5月20日に予定しているきらぼし銀行から当社への配当金の支払額42,959百万円を自己資本から控除しているため、2025年3月末比で自己資本比率が低下しています。なお、きらぼし銀行から当社への配当につきましては、本日(2026年5月8日)別途開示いたしました「連結子会社からの配当金受領に関するお知らせ」をご覧ください。

(4) UI銀行【単体】

(単位：百万円、%)

		2026年 3月末	2025年 3月末比	2025年 3月末
(1) 自己資本比率	(4) ÷ (5)	6.59	0.69	5.89
(2) コア資本に係る基礎項目		20,428	9,513	10,915
(3) コア資本に係る調整項目		2,737	△61	2,798
(4) 自己資本	(2) - (3)	17,691	9,574	8,116
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額		20,373	9,620	10,753
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		54	△107	161
(5) リスク・アセット等		268,381	130,644	137,736
(6) 総所要自己資本額	(5) × 4%	10,735	5,225	5,509

(注) 「自己資本比率」は、2006年金融庁告示第19号及び第20号に基づき算出しております。
また、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては標準的計測手法を採用しております。

Ⅱ. 貸出金等の状況

1. リスク管理債権及び金融再生法開示債権

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	12,041	△3,112	15,154
危険債権	69,188	△1,747	70,936
要管理債権	5,438	△907	6,345
三月以上延滞債権額	53	△9	63
貸出条件緩和債権額	5,384	△898	6,282
小計	86,667	△5,768	92,436
正常債権	4,954,794	64,125	4,890,669
総与信残高	5,041,462	58,356	4,983,105

(2) UI銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	32	30	1
危険債権	89	89	—
要管理債権	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—
小計	121	120	1
正常債権	268,691	212,705	55,986
総与信残高	268,813	212,825	55,988

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(総与信残高比)

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：%)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.23	△0.06	0.30
危険債権	1.37	△0.05	1.42
要管理債権	0.10	△0.01	0.12
三月以上延滞債権額	0.00	△0.00	0.00
貸出条件緩和債権額	0.10	△0.01	0.12
総与信残高に占める割合	1.71	△0.13	1.85

(2) UI銀行【単体】

(単位：%)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.01	0.00	0.00
危険債権	0.03	0.03	—
要管理債権	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—
総与信残高に占める割合	0.04	0.04	0.00

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

【部分直接償却を実施した場合】

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,844	△1,487	6,332
危険債権	69,188	△1,747	70,936
要管理債権	5,438	△907	6,345
三月以上延滞債権額	53	△9	63
貸出条件緩和債権額	5,384	△898	6,282
小計	79,471	△4,143	83,614
正常債権	4,954,794	64,125	4,890,669
総与信残高	5,034,265	59,981	4,974,283

(2) UI銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	32	30	1
危険債権	89	89	—
要管理債権	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—
小計	121	120	1
正常債権	268,691	212,705	55,986
総与信残高	268,813	212,825	55,988

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(総与信残高比)

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：%)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.09	△0.03	0.12
危険債権	1.37	△0.05	1.42
要管理債権	0.10	△0.01	0.12
三月以上延滞債権額	0.00	△0.00	0.00
貸出条件緩和債権額	0.10	△0.01	0.12
総与信残高に占める割合	1.57	△0.10	1.68

(2) UI銀行【単体】

(単位：%)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.01	0.00	0.00
危険債権	0.03	0.03	—
要管理債権	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—
総与信残高に占める割合	0.04	0.04	0.00

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

2. 金融再生法開示債権の保全状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
保全額 (A)	69,290	△2,956	72,247
貸倒引当金	16,239	555	15,683
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,250	△1,759	9,010
危険債権	8,354	2,446	5,907
要管理債権	634	△132	766
担保保証等	53,051	△3,512	56,563
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,790	△1,353	6,144
危険債権	47,450	△1,457	48,908
要管理債権	810	△700	1,510
要管理債権以下計 (B)	86,667	△5,768	92,436
保全率 (A) ÷ (B)	79.94	1.79	78.15

(2) UI銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
保全額 (A)	121	120	1
貸倒引当金	—	—	—
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	—	—	—
危険債権	—	—	—
要管理債権	—	—	—
担保保証等	121	120	1
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	32	30	1
危険債権	89	89	—
要管理債権	—	—	—
要管理債権以下計 (B)	121	120	1
保全率 (A) ÷ (B)	100.00	—	100.00

3. 貸倒引当金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
貸倒引当金	19,325	△16	19,342
一般貸倒引当金	3,611	△703	4,315
個別貸倒引当金	15,713	687	15,026

(2) UI銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
貸倒引当金	54	△107	161
一般貸倒引当金	54	△107	161
個別貸倒引当金	—	—	—

4. 開示債権の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

【2026年3月期】

(単位：億円)

自己査定結果 (対象：総与信等)					金融再生法開示債権及びリスク管理債権 (対象：総与信等)				
債務者区分	分類				開示債権 (与信残高)	担保 保証等	引当金	保全率	
	非分類	II分類	III分類	IV分類					
破綻先 24 <2>	22	1	— (—)	— (21)	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 120 <48>	47	72	100.0% <100.0%>	
実質破綻先 96 <45>	87	9	— (0)	— (50)					
破綻懸念先 691	410	147	133 (83)		危険債権 691	474	83	80.6%	
要注意先 6,268	要管理先 67	11	55		要管理債権 54	三月以上 延滞債権 0 貸出条件 緩和債権 53	8	6	26.5%
	要管理先 以外の 要注意先 6,201	1,713	4,487			小計 866 <794>	530	162	合計 79.9% <78.1%>
正常先 43,334	43,334				要管理債権 以外の要注 意先債権 6,213 正常債権 49,547				
合計 50,414 <50,342>	45,580	4,700	133	—	合計 50,414 <50,342>				

総与信総額に占める割合	90.4%	9.3%	0.2%	—
-------------	-------	------	------	---

- (注) 1. 自己査定結果は、貸出金、支払承諾見返、外国為替、貸出金に準ずる仮払金、未収利息および銀行保証付私募債を対象としております。また、銀行保証付私募債は時価で計上しております。
2. 自己査定結果における()内は分類額に対する引当額です。引当額は非分類に計上しております。
3. きらぼし銀行は、部分直接償却は実施しておりませんが、実施した場合の計数を< >内に記載しております。
4. 部分直接償却とは、自己査定により回収不可能額又は無価値と判定した担保・保証付債権について、IV分類額を貸倒償却として債権額から直接減額することです。

(2) UI銀行【単体】

【2026年3月期】

(単位：億円)

自己査定結果 (対象：総与信等)					金融再生法開示債権及びリスク管理債権 (対象：総与信等)				
債務者区分	分類				開示債権 (与信残高)	担保 保証等	引当金	保全率	
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類					
破綻先 — <->	—	—	— (-)	— (-)	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 0 <0>	0	—	100.0% <100.0%>	
実質破綻先 0 <0>	0	—	— (-)	— (-)					
破綻懸念先 0	0	—	— (-)						
要注意先 20	要管理先 —	—	—		要管理債権 —	三月以上 延滞債権 —	—	—	—
					貸出条件 緩和債権 —				
	要管理先 以外の 要注意先 20	4	16		小計 1 <1>	1	—	合計 100.0% <100.0%>	
正常先 2,665	2,665				要管理債権 以外の要注 意先債権 20				
					正常債権 2,686				
合計 2,688 <2,688>	2,671	16	—	—	合計 2,688 <2,688>				
総与信総額に占める割合	99.3%	0.6%	—	—					

- (注) 1. 自己査定結果は、貸出金、未収利息を対象としております。
 2. 自己査定結果における () 内は分類額に対する引当額です。引当額は非分類に計上しております。
 3. UI銀行は、部分直接償却は実施しておりませんが、実施した場合の計数を< >内に記載しております。
 4. 部分直接償却とは、自己査定により回収不可能額又は無価値と判定した担保・保証付債権について、Ⅳ分類額を貸倒償却として債権額から直接減額することです。
 5. きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

5. 業種別貸出金等

きらぼし銀行【単体】

①業種別貸出金

(単位：百万円)

	2026年	2025年	2025年
	3月末	3月末比	3月末
全店分	5,014,524	61,507	4,953,017
製造業	364,650	△13,858	378,508
農業、林業	1,261	△165	1,426
漁業	280	△58	338
鉱業、採石業、砂利採取業	1,337	△104	1,441
建設業	214,783	5,950	208,833
電気・ガス・熱供給・水道業	42,675	5,942	36,733
情報通信業	125,824	△12,619	138,443
運輸業、郵便業	68,752	1,344	67,408
卸売業・小売業	476,336	△24,820	501,156
金融業・保険業	458,866	△21,887	480,753
不動産業	1,434,365	56,065	1,378,300
(うち不動産取引業)	(573,797)	(48,359)	(525,438)
(うち不動産賃貸業等)	(860,568)	(7,707)	(852,861)
物品賃貸業	92,924	△5,413	98,337
学術研究、専門・技術サービス業	125,331	25,818	99,513
宿泊業	13,766	△1,996	15,762
飲食業	56,789	4,647	52,142
生活関連サービス業、娯楽業	89,093	15,982	73,111
教育、学習支援業	38,798	△6,548	45,346
医療・福祉	220,992	8,039	212,953
その他サービス	140,023	17,746	122,277
地方公共団体	361,031	75,421	285,610
その他	686,635	△67,979	754,614

(注) 1. 特別国際金融取引勘定を「その他」に含めて記載しています。以下②、③も同様であります。

2. 不動産取引業とは不動産取引の免許を有する業者による不動産業であり、不動産賃貸業等とは主にアパート経営等を営む個人経営者による賃貸業等であります。以下②、③も同様であります。

②業種別貸出金（比率）

（単位：％）

	2026年 3月末	2025年 3月末比	2025年 3月末
	全店分	100.00%	—
製造業	7.27%	△0.37%	7.64%
農業、林業	0.02%	△0.00%	0.02%
漁業	0.00%	△0.00%	0.00%
鉱業、採石業、砂利採取業	0.02%	△0.00%	0.02%
建設業	4.28%	0.06%	4.21%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.85%	0.10%	0.74%
情報通信業	2.50%	△0.28%	2.79%
運輸業、郵便業	1.37%	0.01%	1.36%
卸売業・小売業	9.49%	△0.61%	10.11%
金融業・保険業	9.15%	△0.55%	9.70%
不動産業	28.60%	0.77%	27.82%
（うち不動産取引業）	(11.44%)	(0.83%)	(10.60%)
（うち不動産賃貸業等）	(17.16%)	(△0.05%)	(17.21%)
物品賃貸業	1.85%	△0.13%	1.98%
学術研究、専門・技術サービス業	2.49%	0.49%	2.00%
宿泊業	0.27%	△0.04%	0.31%
飲食業	1.13%	0.07%	1.05%
生活関連サービス業、娯楽業	1.77%	0.30%	1.47%
教育、学習支援業	0.77%	△0.14%	0.91%
医療・福祉	4.40%	0.10%	4.29%
その他サービス	2.79%	0.32%	2.46%
地方公共団体	7.19%	1.43%	5.76%
その他	13.69%	△1.54%	15.23%

③業種別リスク管理債権

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年 3月末比	
		2025年 3月末	
全店分	86,667	△5,768	92,436
製造業	11,678	△3,663	15,341
農業、林業	—	—	—
漁業	280	280	—
鉱業、採石業、砂利採取業	426	△27	453
建設業	8,226	1,662	6,564
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—
情報通信業	6,042	724	5,317
運輸業、郵便業	3,051	△442	3,493
卸売業・小売業	26,378	△2,633	29,012
金融業・保険業	301	4	297
不動産業	5,846	1,096	4,749
(うち不動産取引業)	(2,363)	(2,032)	(331)
(うち不動産賃貸業等)	(3,482)	(△935)	(4,417)
物品賃貸業	70	△507	577
学術研究、専門・技術サービス業	3,365	265	3,099
宿泊業	1,037	△153	1,191
飲食業	4,587	△380	4,968
生活関連サービス業、娯楽業	3,978	△81	4,060
教育、学習支援業	1,148	△773	1,921
医療・福祉	3,155	155	2,999
その他サービス	3,137	△528	3,665
地方公共団体	—	—	—
その他	3,954	△766	4,721

6. 貸出金・預金残高等の状況

① 貸出金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2026年 3月末	2025年 3月末比	2025年 3月末
貸出金(末残)	5,014,524	61,507	4,953,017
(除く特別国際金融取引勘定) (A)	(5,014,524)	(61,507)	(4,953,017)
中小企業等貸出金 (B)	3,971,939	△13,681	3,985,621
うち中小企業貸出	3,336,224	29,287	3,306,937
うち個人向け貸出	635,715	△42,968	678,684
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	79.20	△1.25	80.46
貸出金(平残)	4,952,449	105,194	4,847,255

(2) UI銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2026年 3月末	2025年 3月末比	2025年 3月末
貸出金(末残)	268,640	212,680	55,959
(除く特別国際金融取引勘定) (A)	(268,640)	(212,680)	(55,959)
中小企業等貸出金 (B)	268,640	212,680	55,959
うち中小企業貸出	—	—	—
うち個人向け貸出	268,640	212,680	55,959
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	100.00	—	100.00
貸出金(平残)	153,566	145,331	8,235

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(3) きらぼし銀行及びUI銀行の合算

(単位：百万円、%)

	2026年 3月末	2025年 3月末比	2025年 3月末
貸出金(末残)	5,283,165	274,187	5,008,977
(除く特別国際金融取引勘定) (A)	(5,283,165)	(274,187)	(5,008,977)
中小企業等貸出金 (B)	4,240,580	198,999	4,041,581
うち中小企業貸出	3,336,224	29,287	3,306,937
うち個人向け貸出	904,355	169,711	734,644
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	80.26	△1.25	80.68
貸出金(平残)	5,106,015	250,525	4,855,490

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

② 消費者ローン残高

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年 3月末比	2025年 3月末
消費者ローン	635,715	△42,968	678,684
うち住宅ローン	558,026	△47,935	605,961
うちその他ローン	77,689	4,966	72,722

(2) UI銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年 3月末比	2025年 3月末
消費者ローン	268,640	212,680	55,959
うち住宅ローン	169,811	139,216	30,594
うちその他ローン	98,829	73,463	25,365

(3) きらぼし銀行及びUI銀行の合算

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年 3月末比	2025年 3月末
消費者ローン	904,355	169,711	734,644
うち住宅ローン	727,837	91,281	636,556
うちその他ローン	176,518	78,430	98,087

③ 預金等の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
預金等（末残）	5,809,226	13,156	5,796,069
預金	5,406,026	△61,843	5,467,869
個人預金	2,878,968	△50,540	2,929,508
法人預金	2,331,140	119,256	2,211,883
その他預金	195,917	△130,559	326,476
譲渡性預金	403,200	75,000	328,200
預金等（平残）	5,785,970	177,833	5,608,137
預金	5,586,871	139,014	5,447,857
譲渡性預金	199,098	38,819	160,279

(2) UI銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
預金等（末残）	805,988	110,759	695,229
預金	805,988	110,759	695,229
個人預金	764,651	69,421	695,229
法人預金	41,337	41,337	—
預金等（平残）	776,678	305,390	471,287
預金	776,678	305,390	471,287

(注) UI銀行では2025年7月より法人預金の取り扱いを開始しております。

(3) きらぼし銀行及びUI銀行の合算

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
預金等（末残）	6,615,214	123,916	6,491,298
預金	6,212,014	48,916	6,163,098
個人預金	3,643,619	18,881	3,624,737
法人預金	2,372,477	160,593	2,211,883
その他預金	195,917	△130,559	326,476
譲渡性預金	403,200	75,000	328,200
預金等（平残）	6,562,648	483,223	6,079,424
預金	6,363,550	444,404	5,919,145
譲渡性預金	199,098	38,819	160,279

(注) UI銀行では2025年7月より法人預金の取り扱いを開始しております。

④ 地域別預金・貸出金残高
 (1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	2025年 3月末
		3月末比	
預金	5,406,026	△61,843	5,467,869
東京都	4,161,131	△78,787	4,239,918
神奈川県	1,158,461	25,760	1,132,700
その他	86,434	△8,815	95,250
貸出金	5,014,524	61,507	4,953,017
東京都	4,409,490	73,507	4,335,982
神奈川県	539,857	△12,224	552,081
その他	65,177	223	64,953

(2) UI銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	2025年 3月末
		3月末比	
預金	805,988	110,759	695,229
東京都	397,681	78,516	319,165
神奈川県	163,738	22,858	140,879
その他※	244,569	9,384	235,184
貸出金	268,640	212,680	55,959
東京都	162,177	130,418	31,758
神奈川県	28,071	21,595	6,476
その他※	78,391	60,665	17,725

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

※その他地域の分布状況

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	2025年 3月末
		3月末比	
預金	244,569	9,384	235,184
関東	102,444	4,619	97,825
関西	48,853	1,292	47,560
東海	28,212	1,156	27,055
その他	65,059	2,316	62,743
貸出金	78,391	60,665	17,725
関東	29,074	22,551	6,523
関西	13,563	11,035	2,527
東海	12,593	9,529	3,063
その他	23,159	17,548	5,610

(3) きらぼし銀行及びU I 銀行の合算

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
預金	6,212,014	48,916	6,163,098
東京都	4,558,812	△271	4,559,083
神奈川県	1,322,199	48,618	1,273,580
その他	331,003	568	330,434
貸出金	5,283,165	274,187	5,008,977
東京都	4,571,667	203,926	4,367,741
神奈川県	567,929	9,371	558,557
その他	143,568	60,889	82,678

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

⑤ 預かり資産残高

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
預かり資産	453,898	32,668	421,230
投資信託	156,756	14,545	142,210
生命保険	281,072	15,777	265,294
公共債	16,069	2,344	13,724

(2) きらぼしライフデザイン証券

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
預かり資産	475,494	185,424	290,070
投資信託	389,023	121,382	267,640
公共債	638	413	224
その他	85,832	63,627	22,205

(3) きらぼし銀行及びきらぼしライフデザイン証券の合算

(単位：百万円)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
預かり資産	929,392	218,092	711,300
投資信託	545,780	135,928	409,851
生命保険	281,072	15,777	265,294
公共債	16,707	2,758	13,949
その他	85,832	63,627	22,205

⑥ 店舗及び役職員の状況
きらぼし銀行【単体】

(単位：店、人)

	2026年 3月末	2025年	
		3月末比	3月末
国内本支店（含む出張所）	164	1	163
東京都	119	1	118
神奈川県	41	—	41
その他	4	—	4
役職員数	2,063	△51	2,114
役員数	9	—	9
職員数	2,054	△51	2,105

(注) 職員数は、執行役員を含み、臨時雇用、嘱託及び出向者を除いております。

⑦ 信託業務
きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

		2026年 3月期	2025年	
			3月期比	3月期
公共工事代金債権信託	取扱金額	57,011	7,516	49,495
	期末残高	50,764	12,716	38,047
不動産管理信託	取扱金額	19,669	7,463	12,205
	期末残高	123,709	17,106	106,603
その他	取扱金額	815	787	28
	期末残高	4,726	3,862	864
合計	取扱金額	77,495	15,766	61,729
	期末残高	179,201	33,684	145,516

Ⅲ. 有価証券の評価損益

1. 評価基準

売買目的有価証券	時価法
満期保有目的の債券	償却原価法
その他有価証券	時価法（評価差額を全部純資産直入） ただし、市場価格のない株式等については原価法
子会社株式及び関連会社株式	原価法

2. 評価損益

(1) 東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円)

	2026年3月末				2025年3月末		
	評価損益	2025年 3月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△1,173	76	—	1,173	△1,250	—	1,250
その他有価証券	△33,802	517	25,471	59,273	△34,319	15,467	49,787
株式	22,515	9,521	22,958	442	12,994	13,830	835
債券	△41,389	△15,334	155	41,545	△26,055	211	26,266
その他	△14,928	6,330	2,357	17,285	△21,258	1,425	22,684
合計	△34,976	593	25,471	60,447	△35,569	15,467	51,037

(2) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年3月末				2025年3月末		
	評価損益	2025年 3月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△587	327	—	587	△915	—	915
その他有価証券	△33,694	440	23,370	57,065	△34,134	15,053	49,188
株式	20,708	8,121	21,151	442	12,586	13,421	834
債券	△40,151	△14,374	158	40,310	△25,777	236	26,013
その他	△14,251	6,693	2,060	16,311	△20,944	1,395	22,340
合計	△34,282	768	23,370	57,652	△35,050	15,053	50,104

以上



東京きらぼしフィナンシャルグループ
2026年3月期
決算概要

2026年3月期 決算サマリー

東京きらぼしFG(連結)

		(億円)				
		① 25/3 (実績)	② 26/3 (実績)	前年同期比 (②-①)	③ 26/3 (当初業績予想)	進捗率 (② / ③)
1	経常利益	416	604	+188	470	128.6%
2	親会社株主に帰属する当期純利益	313	423	+109	330	128.3%

経常利益

前年同期比 **+45.1%**
(416億円 → 604億円)

親会社株主に帰属する 当期純利益

前年同期比 **+35.0%**
(313億円 → 423億円)

きらぼし銀行(単体)

		(億円)				
		① 25/3 (実績)	② 26/3 (実績)	前年同期比 (②-①)	③ 26/3 (当初業績予想)	進捗率 (② / ③)
1	コア業務粗利益	948	1,034	+85	950	108.8%
2	資金利益	852	905	+53	880	—
3	貸出金利息	715	842	+126	857	—
4	有価証券利息配当金	222	252	+30	204	—
5	預金等利息	▲55	▲167	▲111	▲145	—
6	その他利息	▲29	▲22	+7	▲35	—
7	非金利収支	96	128	+31	70	—
8	経費	▲549	▲571	▲21	▲549	—
9	コア業務純益	399	463	+64	401	115.5%
10	与信関係費用	▲29	▲38	▲9	▲50	—
11	国債等債券損益	▲63	▲83	▲19	11	—
12	株式等関係損益	99	218	+119	60	—
13	その他臨時損益	▲2	6	+9	▲1	—
14	経常利益	402	565	+163	421	134.3%
15	特別損益	31	2	▲29	▲2	—
16	法人税等合計	▲131	▲171	▲39	▲128	—
17	当期純利益	302	396	+94	291	136.4%

注1:本頁の各計数の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示
注2:非金利収支=信託報酬+役員取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く)

ポイント解説

▶ 預貸金利息：前年同期比 **+15億円**

…メイン化取引の推進や、政策金利引き上げにより、
預貸金利息(Net)が増加 (億円)

	25/3	26/3	前年同期比
3 貸出金利息	715	842	+126
5 預金等利息	▲55	▲167	▲111
預貸金利息(Net)	659	675	+15

▶ 有価証券利息配当金：前年同期比 **+30億円**

…出資先(※)のEXIT等により、ファンド収益が増加(+29億円) (億円)

	25/3	26/3	前年同期比
4 有価証券利息配当金	222	252	+30

▶ 債券・株式等関係損益：前年同期比 **+99億円**

…超長期債等の損失処理による実現損計上(▲96億円)の一方、
純投資及び政策保有株式の売却益が増加 (億円)

	25/3	26/3	前年同期比
11 国債等債券損益	▲63	▲83	▲19
12 株式等関係損益	99	218	+119
うち政策保有株式売却益	42	87	+44
債券・株式等関係損益(Net)	35	135	+99

✓ 当期純利益(FG連結/銀行単体)には、優先株式償還原資として計上した
有価証券売却益等74億円(=特殊要因)含む

経常利益

前年同期比 **+40.5%**
(402億円 → 565億円)

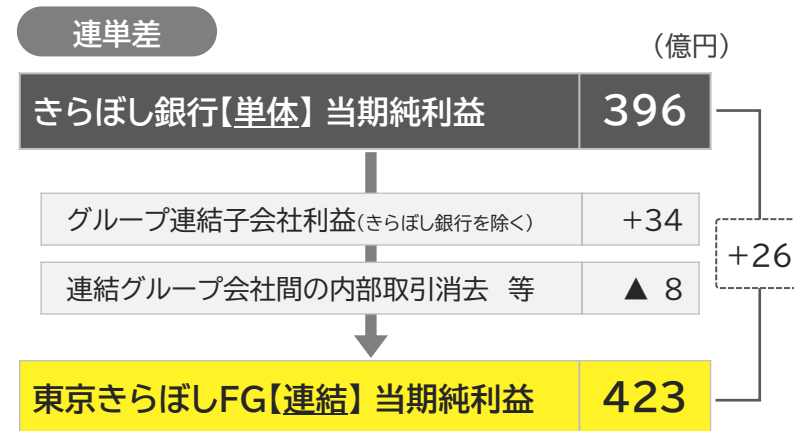
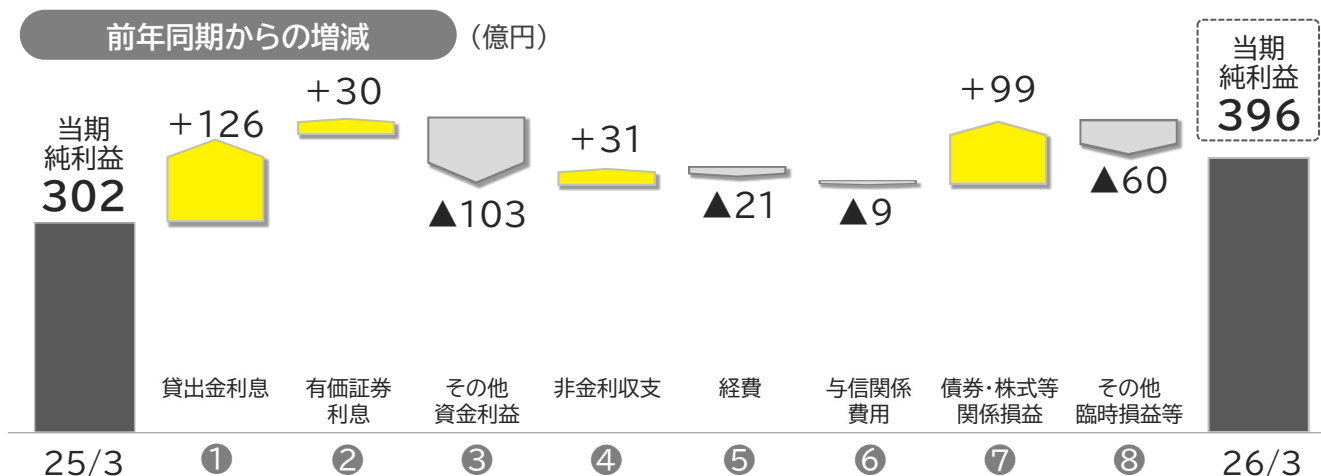
当期純利益

前年同期比 **+31.1%**
(302億円 → 396億円)

当期純利益の増減要因(きらぼし銀行)

※本頁の各計数の前年同期比の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

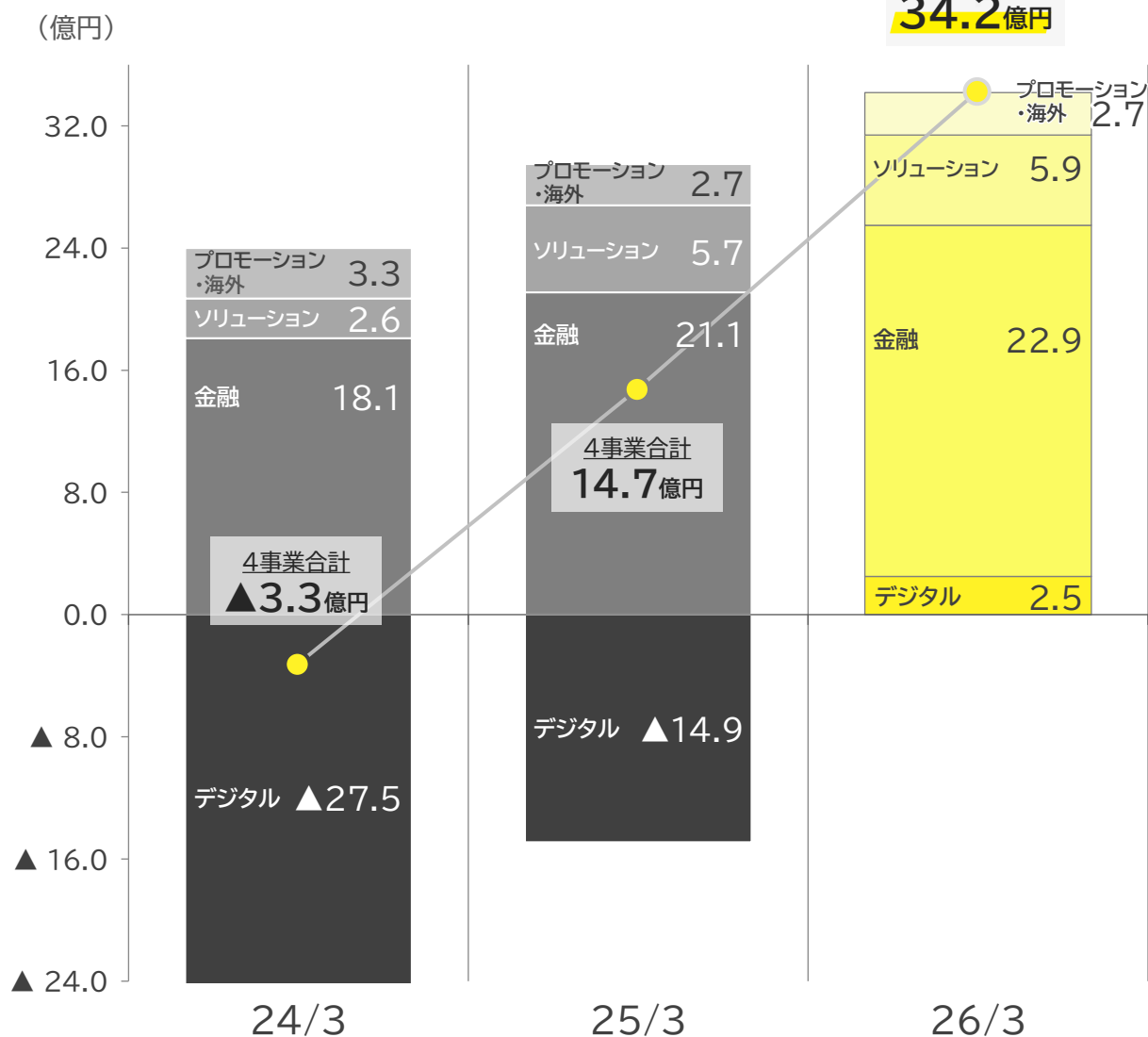
	主要項目	前年同期比	ポイント
①	貸出金利息	+126億円	メイン化取引の推進、お客さまとのリレーション強化の取組みにより貸出金が増加、また、政策金利上昇の影響等により貸出金利回りも上昇し、前年同期比+126億円
②	有価証券利息配当金	+30億円	ファンド収益の増加(+29億円)等により同比+30億円
③	その他資金利益 (預金等利息+その他利息)	▲103億円	金利上昇に伴う預金等利息の増加等により同比▲103億円 ▶ 預金等利息【25/3期】▲55億円 → 【26/3期】▲167億円 (▲111億円) ▶ その他利息【25/3期】▲29億円 → 【26/3期】▲22億円 (+7億円)
④	非金利収支 (信託報酬+役員取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く))	+31億円	円債及び外債のヘッジコストが減少したこと等により同比+31億円 ▶ 役員取引等利益(信託報酬含む)【25/3期】112億円 → 【26/3期】117億円 (+4億円) ▶ その他業務利益【25/3期】▲16億円 → 【26/3期】10億円 (+27億円)
⑤	経費	▲21億円	ベースアップ等による人件費の増加や事務委託費等物件費の増加等により同比▲21億円
⑥	与信関係費用	▲9億円	事業再生支援や予兆管理強化等により費用発生は全般的に抑制された一方、一部大口先の信用悪化等により同比▲9億円
⑦	債券・株式等関係損益	+99億円	純投資及び政策保有株式の売却益の増加により同比+99億円 ▶ 国債等債券損益【25/3期】▲63億円 → 【26/3期】▲83億円 (▲19億円) ▶ 株式等関係損益【25/3期】99億円 → 【26/3期】218億円 (+119億円)
⑧	その他臨時損益 特別損益・法人税等合計	▲60億円	25/3期に計上した土地売却による特別利益33億円の剥落や法人税等の増加(▲39億円)などにより同比▲60億円
	計	+94億円	



グループ会社利益（きらぼし銀行を除く）

グループ会社利益は**34.2億円**（前年同期比+19.5億円）となり、「デジタル事業」の黒字化がプラス寄与
 年度計画30億円を超過。各社連携による複合ソリューション提供でグループシナジーの更なる発揮を目指す

事業別グループ会社利益推移



デジタル事業

UI銀行
 きらぼしテック

金融事業

東京きらぼしリース
 きらぼしキャピタル
 きらぼしライフデザイン証券
 きらぼし債権回収
 きらぼしインシュアランスエージェンシー
 きらぼしJCB
 きらぼし信用保証
 八千代信用保証

ソリューション事業

きらぼしコンサルティング
 きらぼしシステム
 アイティーシー
 きらぼしビジネスオフィスサービス

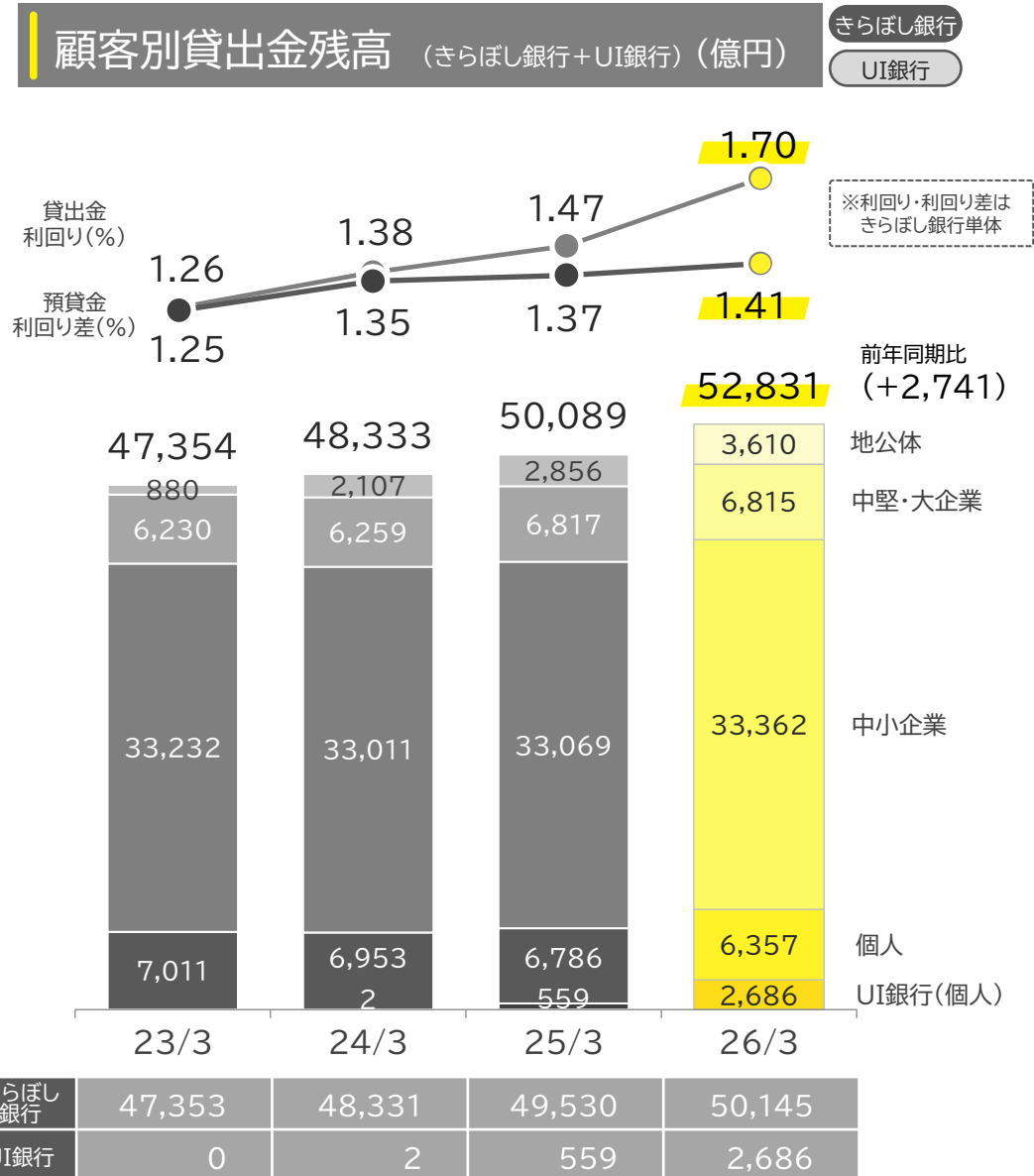
プロモーション・海外事業

ビー・ブレーブ
 きらぼしビジネスサービス
 綺羅商務諮詢(上海)
 信銘冠嘉商務諮詢(北京)
 KIRABOSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM

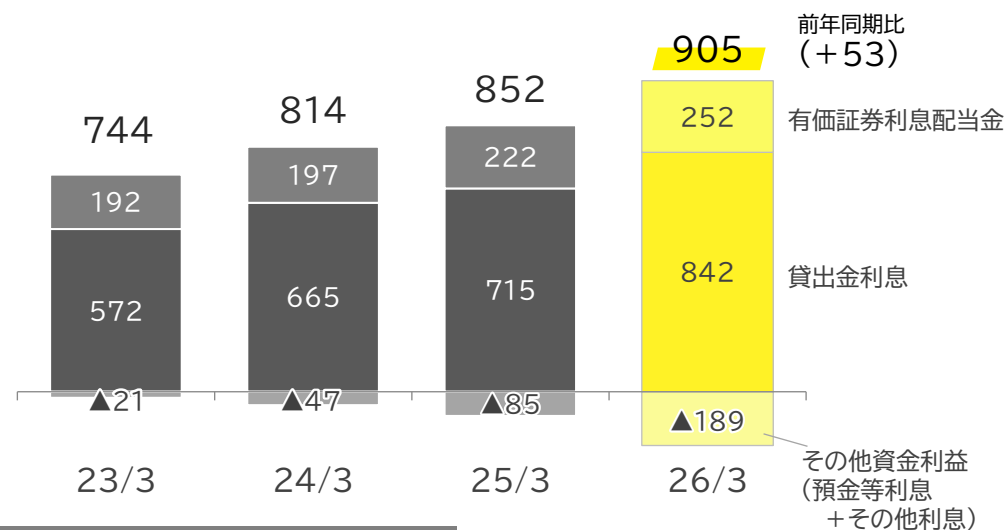
貸出金・信託財産

メイン化取引の推進や政策金利上昇の影響等により、貸出金利回りが上昇し、預貸金利回り差が拡大
金利上昇に伴い預金等利息が増加する一方で貸出金利息も増加し、資金利益全体の増加基調は継続

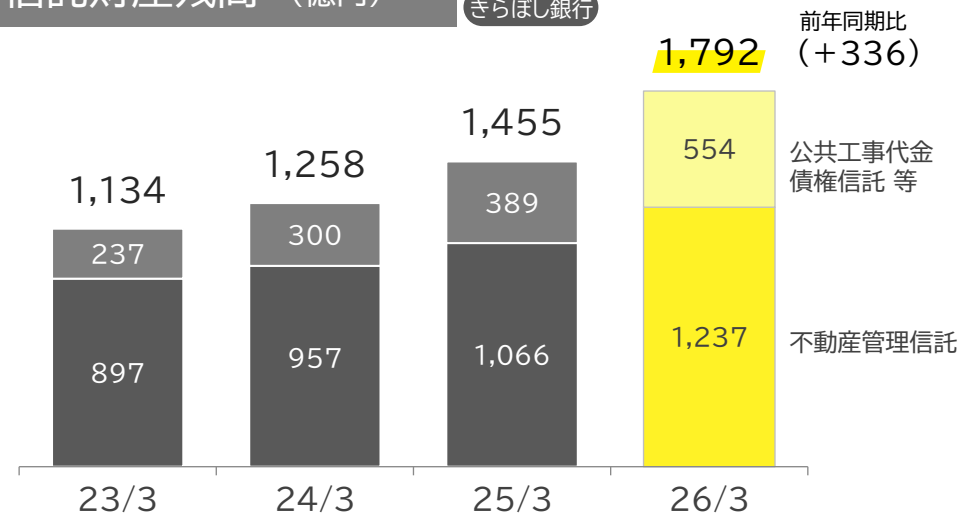
顧客別貸出金残高 (きらぼし銀行+UI銀行) (億円)



資金利益 (億円)



信託財産残高 (億円)

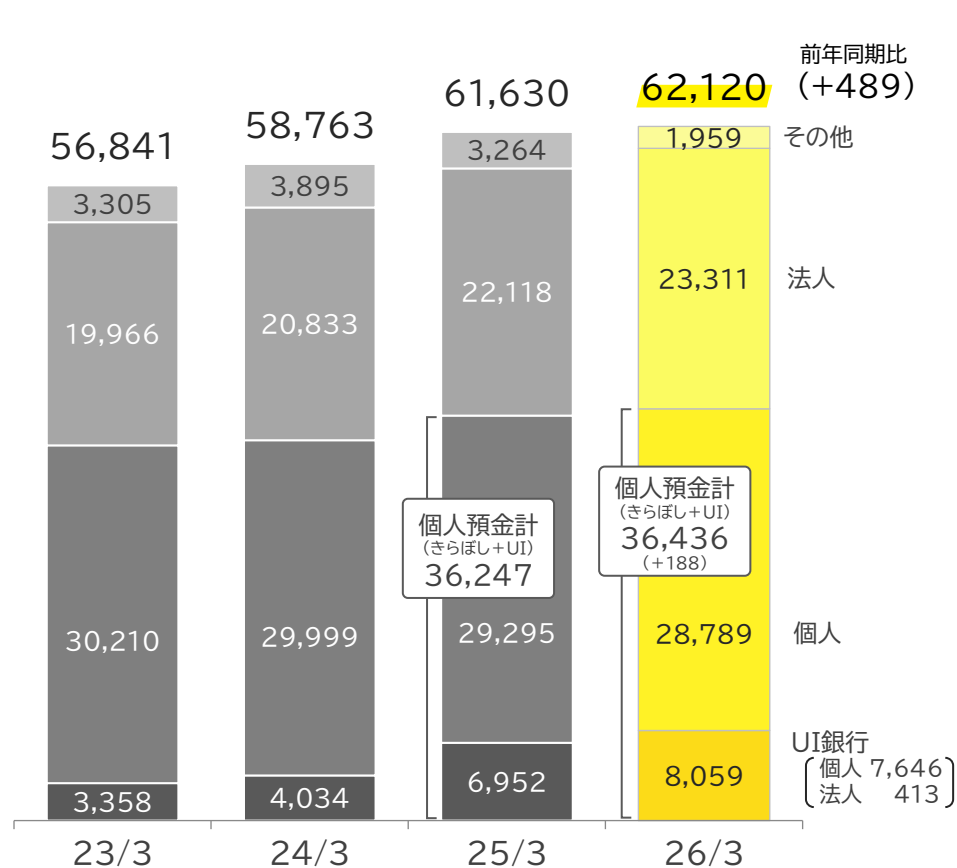


預金・預かり資産残高

グループ合算預金残高(きらぼし銀行+UI銀行)は、きらぼし銀行の法人預金・UI銀行の個人預金を中心に増加
 預かり資産残高は、KLD証券での投資信託の増加や他社からの株式移管の推進等により、全体で**2,180**億円増加

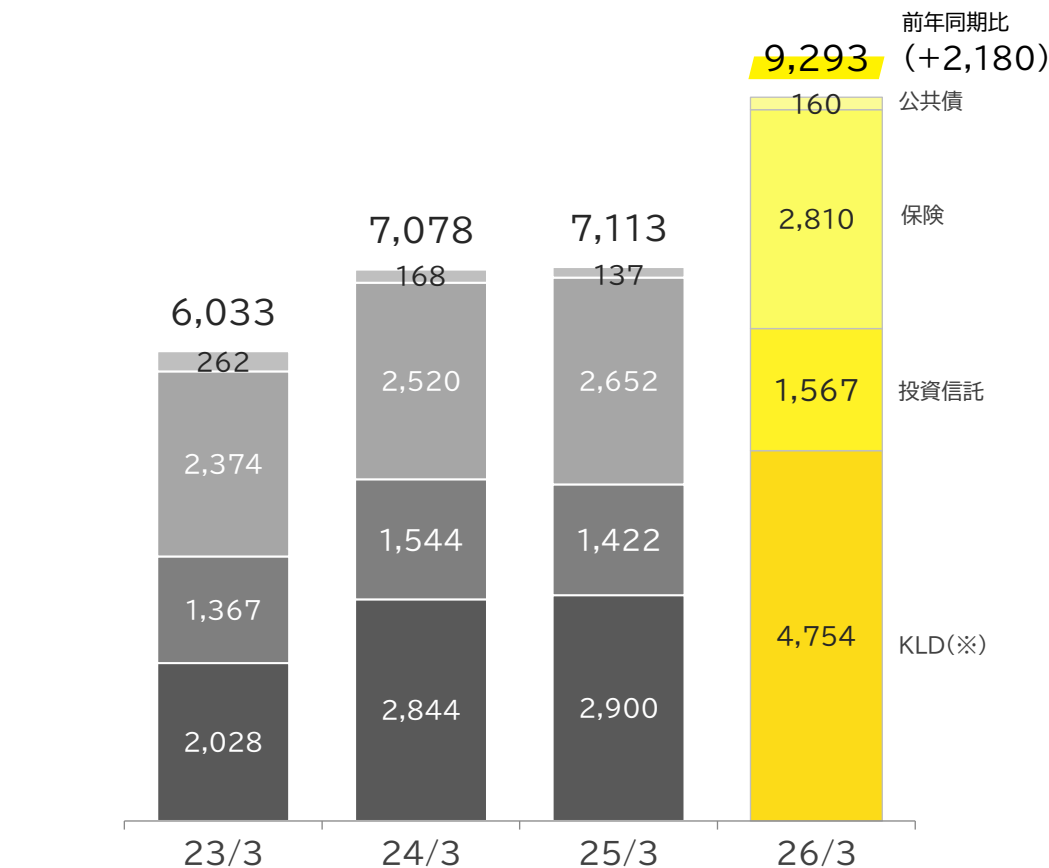
顧客別預金残高 (きらぼし銀行+UI銀行) (億円)

きらぼし銀行
UI銀行



項目別預かり資産残高 (きらぼし銀行+KLD) (億円)

きらぼし銀行
KLD証券



※譲渡性預金を含まない
 ※25/3期以前のUI銀行の数値は「個人預金」のみ

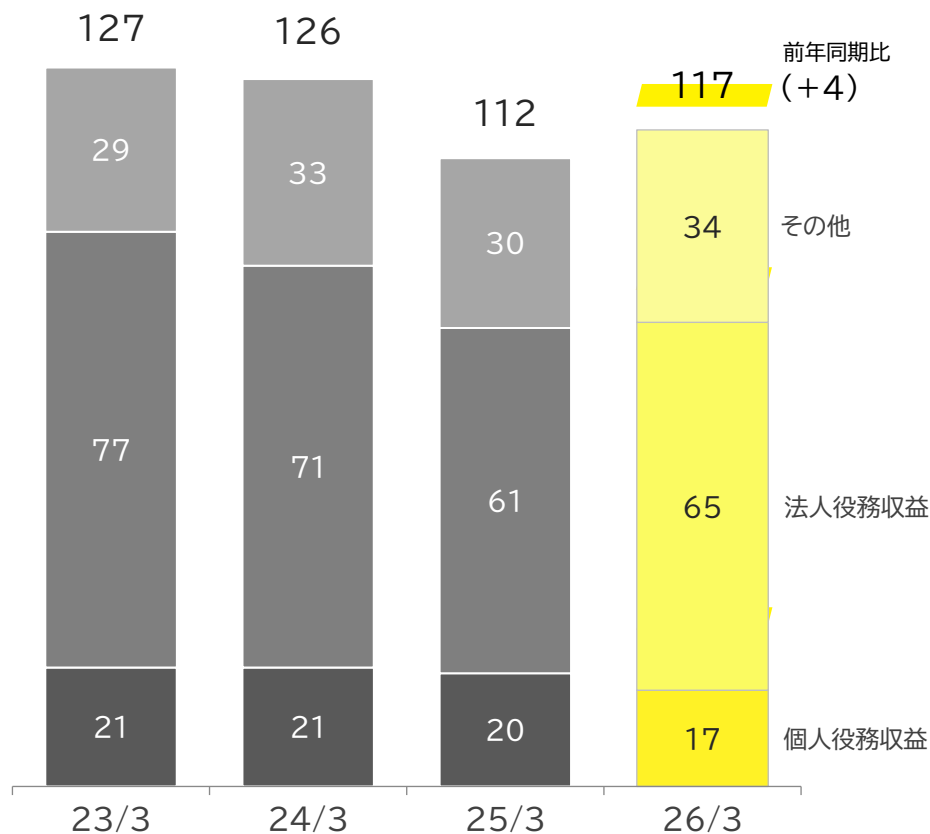
※KLD:きらぼしライフデザイン証券

役務取引等利益

法人役務収益はメイン化や事業性ファイナンス等に関連する収益が増加し、前年同期比+3億円
個人役務収益は同比▲3億円となった一方、KLD証券の手数料収益は引き続き増加基調

役務取引等利益 (億円)

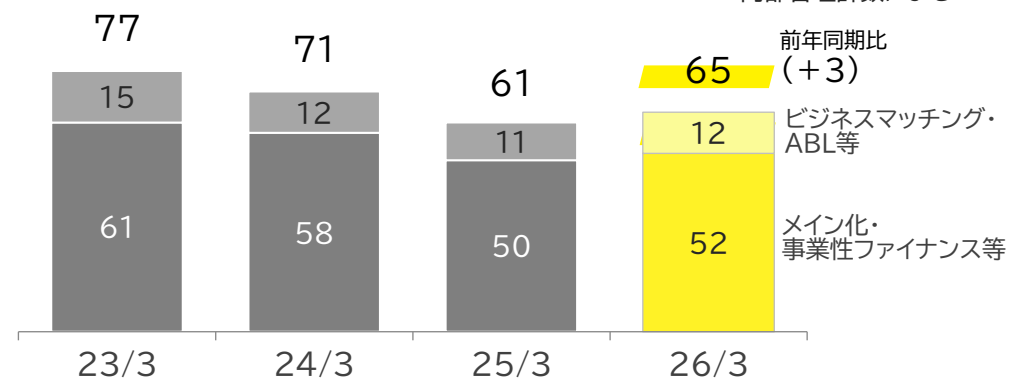
きらぼし銀行



※「その他」に信託報酬を含む

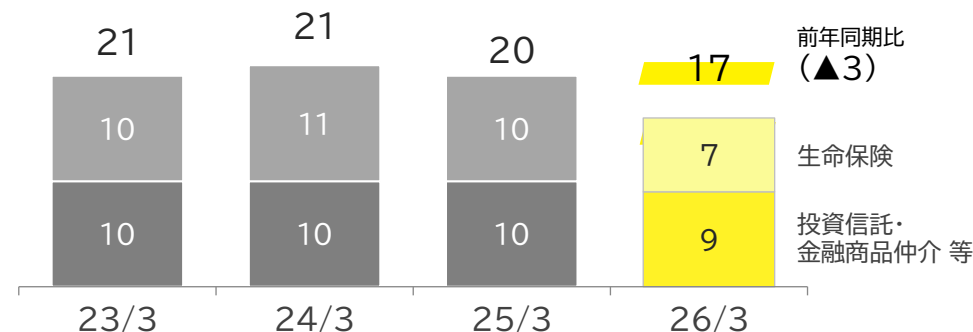
法人役務収益 (億円)

きらぼし銀行

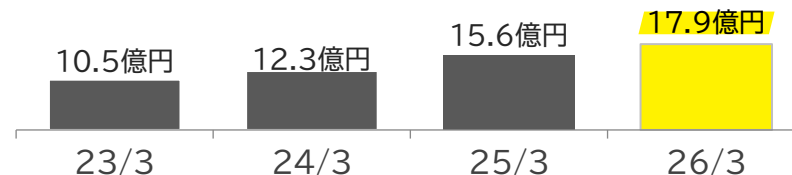


個人役務収益 (億円)

きらぼし銀行



【参考】きらぼしライフデザイン証券手数料収益 (※上記個人役務収益には含まれない)

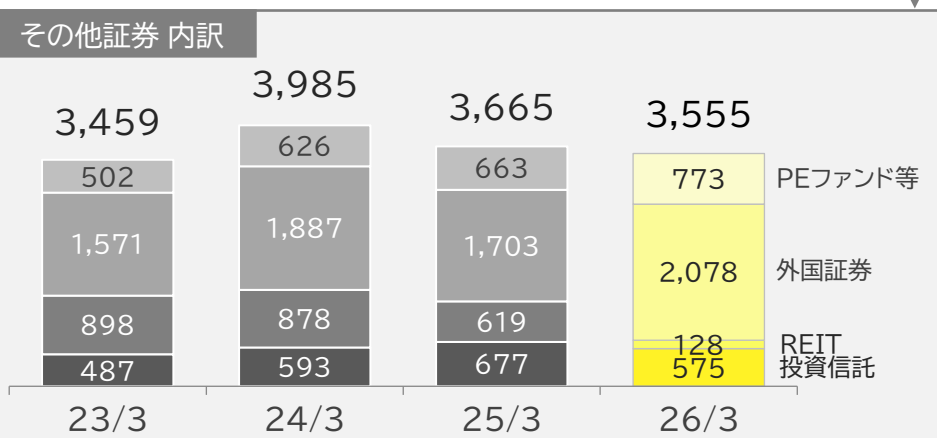
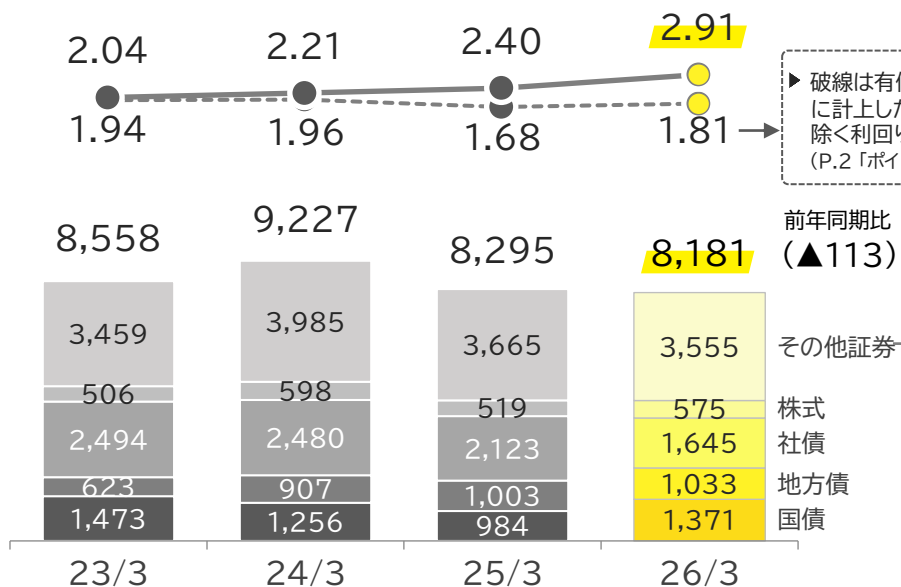


有価証券

ファンド収益の増加等により、有価証券利回りは**2.91%**と上昇(前年同期比+**0.50%pt**)
 更なる金利上昇に備え、ヘッジオペレーションなどによるリスクコントロールを引き続き実施

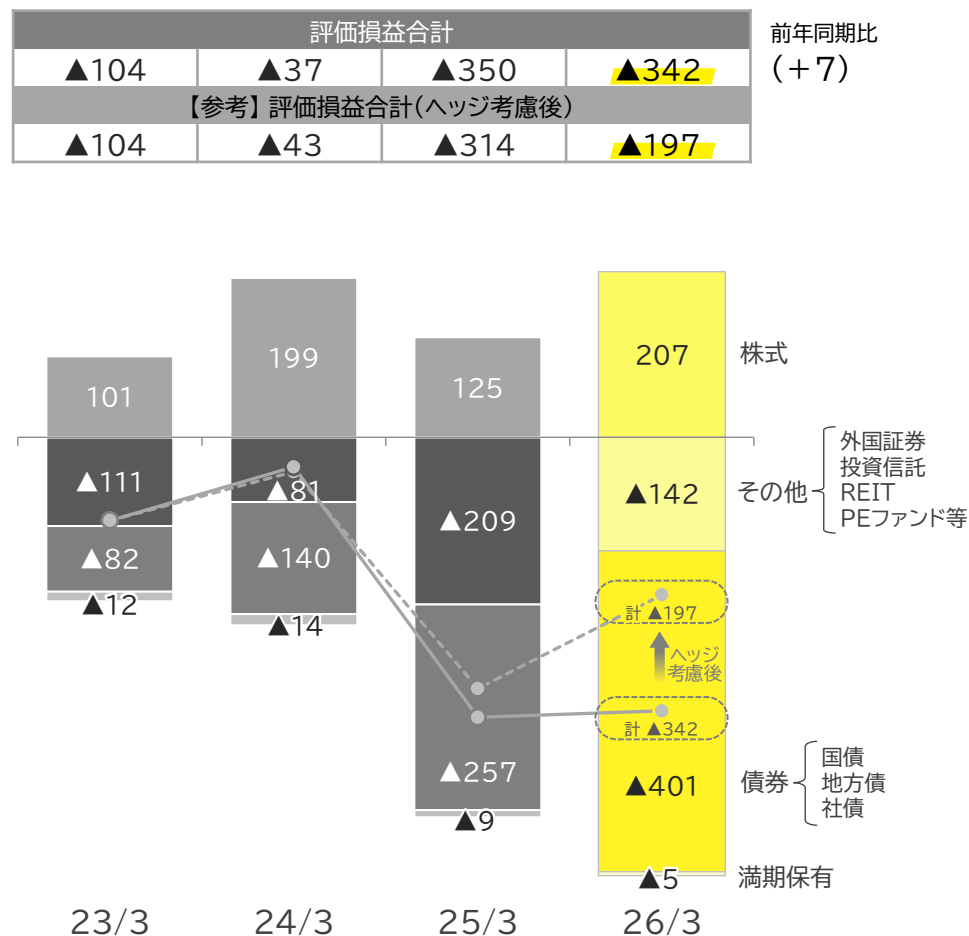
有価証券残高・利回り (億円、%)

きらぼし銀行



有価証券評価損益 (億円)

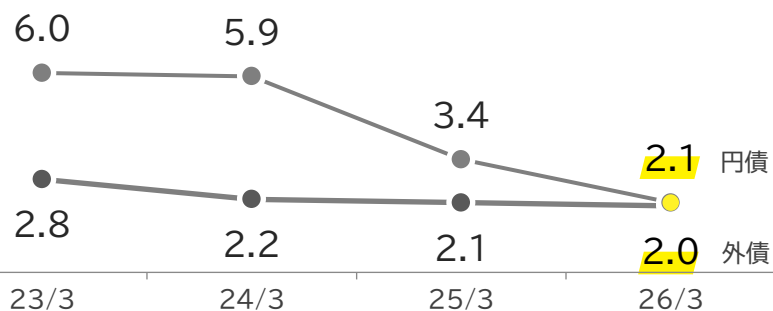
きらぼし銀行



2025年度はヘッジオペレーションや、株式売却益を活用した10年超債券売却で金利リスクに対応
2026年度もデュレーションは引き続き抑制方針。短期債中心のポートフォリオ運営に取り組む

デュレーション（年）

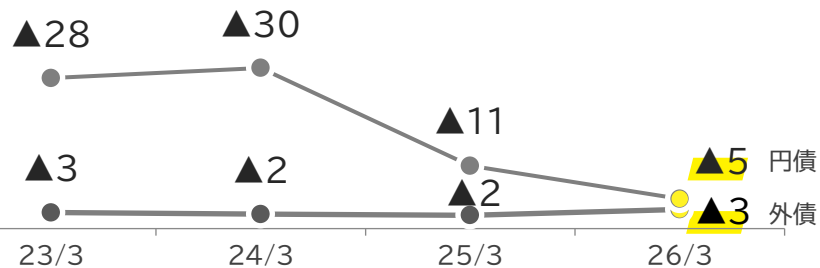
きらぼし銀行



※ヘッジ考慮後

金利感応度（億円）

きらぼし銀行



※金利が10bpパラレルに上方シフトした場合の影響(投信を除く)
※ヘッジ考慮後
※2026年3月期第3四半期開示分より計算基準変更。第2四半期以前の開示とは連続性なし

円債 年限別構成割合

きらぼし銀行

2025年度 円債オペレーション総括

売却

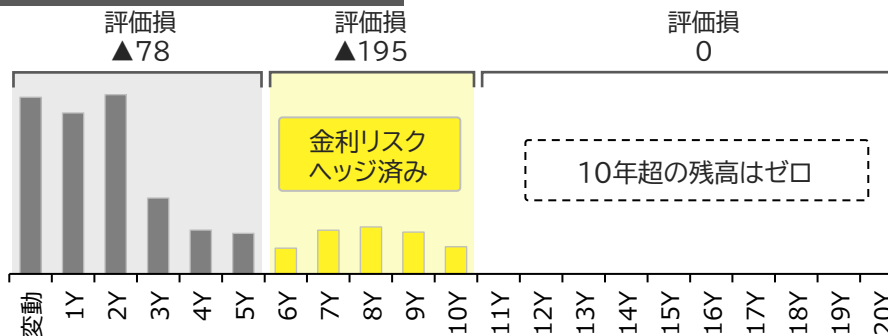
▶ ヘッジオペレーション損益・株式売却益を活用し、10年超債券の売却を実施。同年限の残高はゼロ

購入

▶ 足元の金利環境を踏まえて購入ペースは抑制
▶ 金利リスクを抑制しつつ、短期債の購入を実施

2025年度末(26/3)

(億円)



2026年度 円債オペレーション方針

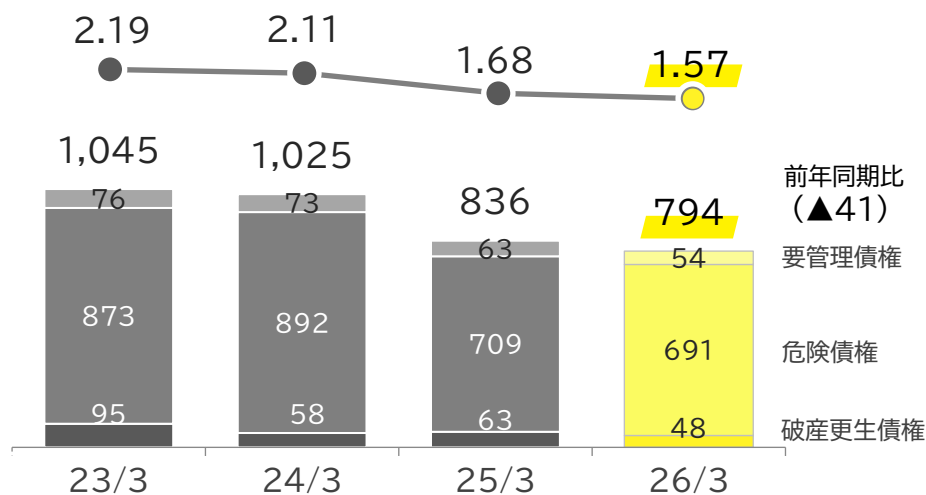
- ▶ 国内金利の緩やかな上昇局面継続を想定しており、当面は金利リスクを抑制し、短期債中心の投資を計画
- ▶ 金利リスク量の削減は十分に進んでいることから、金利上昇が終了する局面では金利リスクテイク余力を生かし、長期債等への投資も検討

金融再生法開示債権・自己資本比率

与信費用は費用発生により前年同期比増加したが、年度計画(50億円)対比では低水準
 リスク・アセットが増加した一方、利益の積上げにより自己資本が増加し、前年同期比で自己資本比率は上昇

開示債権額・比率 (きらぼし銀行) (億円、%)

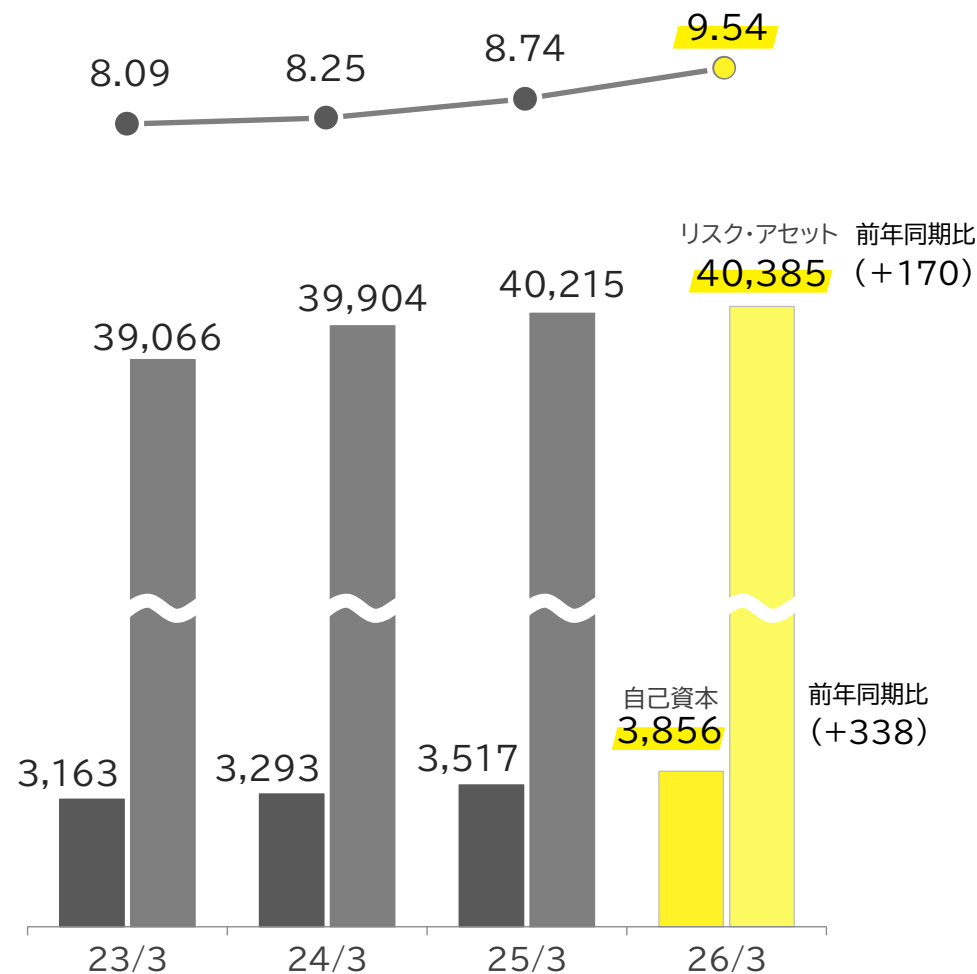
きらぼし銀行



※部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。

自己資本比率 (東京きらぼしFG連結) (億円、%)

FG連結



与信関係費用 (きらぼし銀行) (億円)

きらぼし銀行

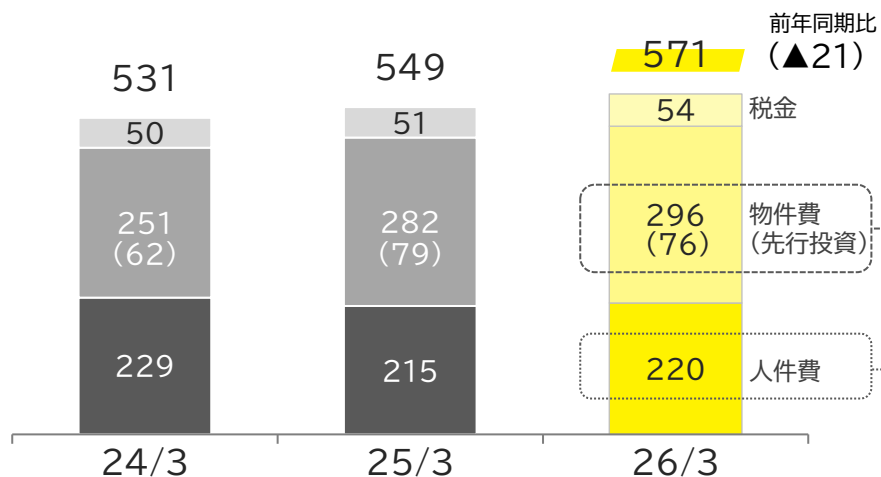
	25/3	26/3	前年同期比
① 一般貸倒引当金繰入額	▲10	▲7	+3
② 不良債権処理額	40	45	+5
うち個別貸引繰入額	34	39	+5
③ 貸倒引当金戻入益	—	—	—
与信関係費用 (①+②-③)	29	38	+9

経費・コアOHR・ROE

経費が増加した一方で、コア業務粗利益の増加が寄与し、コアOHRは前年同期比2.7%pt改善
 FG当期純利益の大幅な増益により、ROEは前年同期比2.1%pt上昇し、10%超と高水準

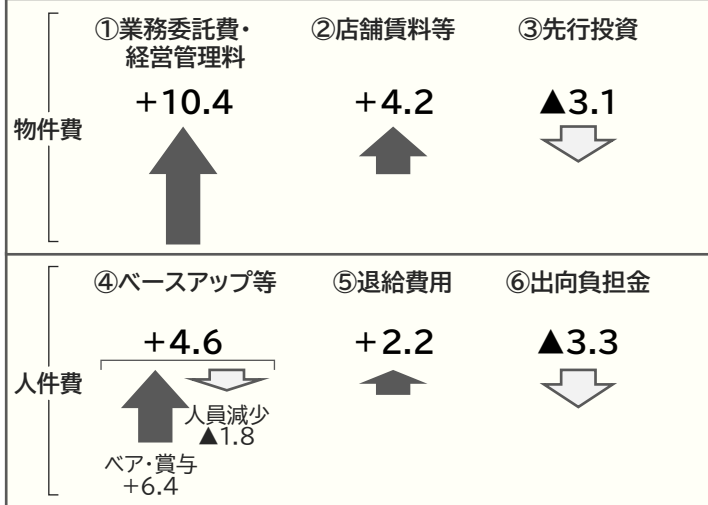
経費 (億円)

きらぼし銀行



前年同期比 増減要因 (25/3 → 26/3)

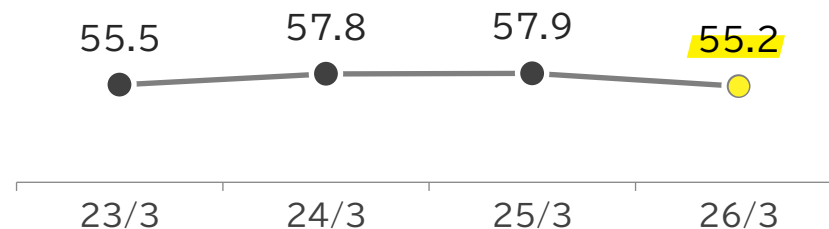
(億円)



コアOHR (%)

きらぼし銀行

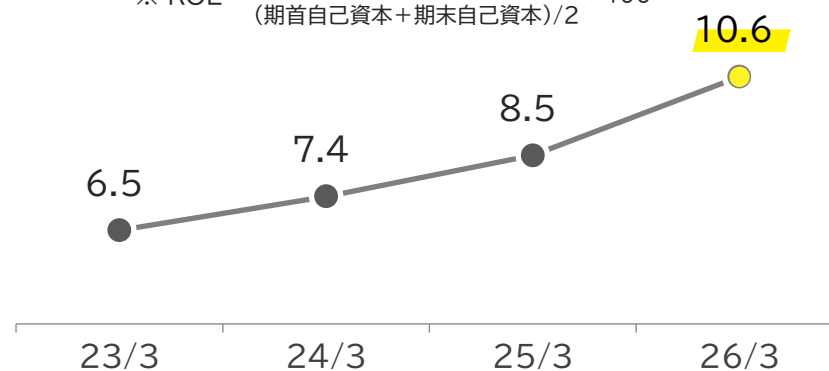
$$\text{※ コアOHR} = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}} \times 100$$



ROE (%)

FG連結

$$\text{※ ROE} = \frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2} \times 100$$

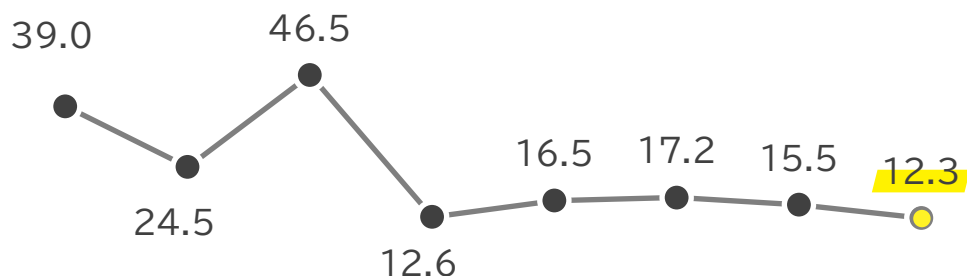


配当金・顧客向けサービス業務利益

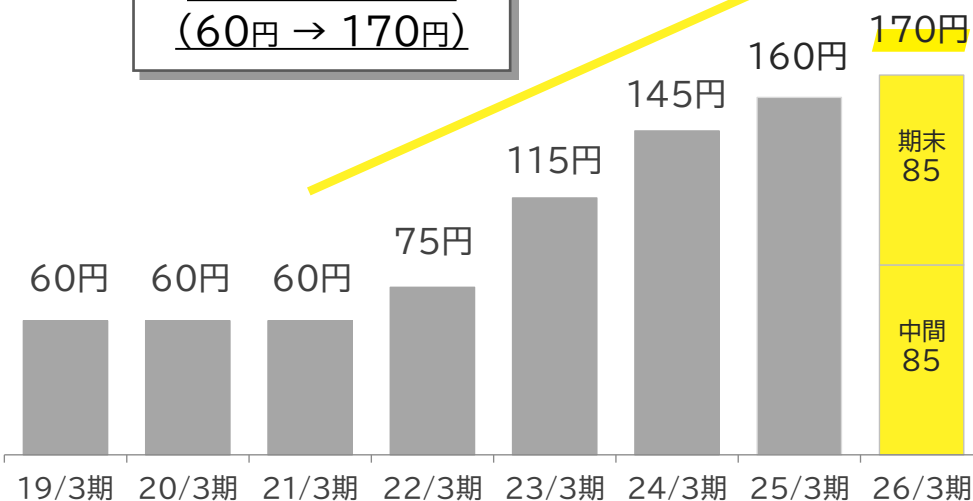
2026年3月期の1株当たり年間配当金は5期連続の増配となる170円
 顧客向けサービス業務利益は貸出金残高の増加・預貸金利回り差の拡大等により10億円増加

1株当たり年間配当金・配当性向 (円、%)

FG連結

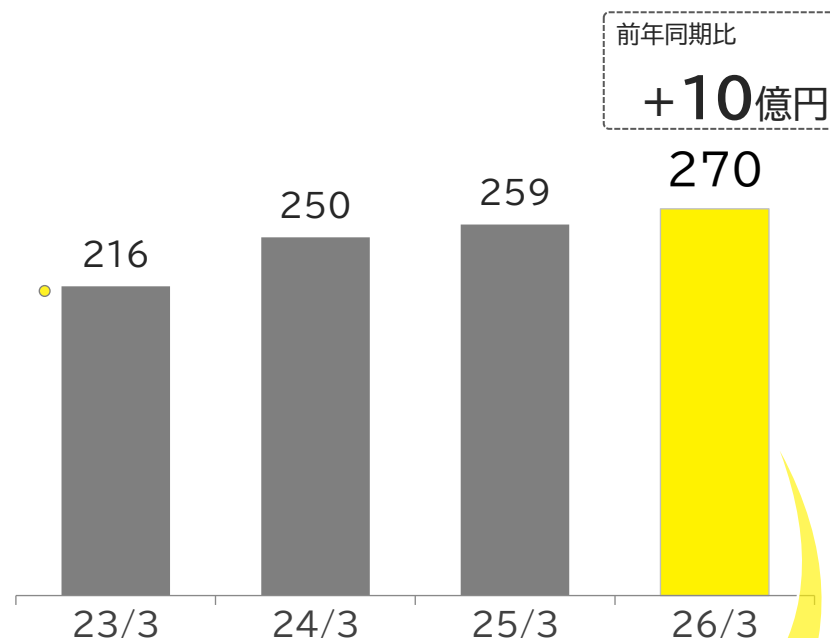


5期連続増配
 (60円 → 170円)



顧客向けサービス業務利益(※1) (億円)

きらぼし銀行



主な増加要因

増加：**貸出金残高** (前年同期比 +615億円)
預貸金利回り差 (前年同期比 +0.03%pt)

※1 算出方法: (貸出金残高×預貸金利回り差) + 役務取引等利益 - 営業経費
 ※2 役務取引等利益は、信託報酬を含む

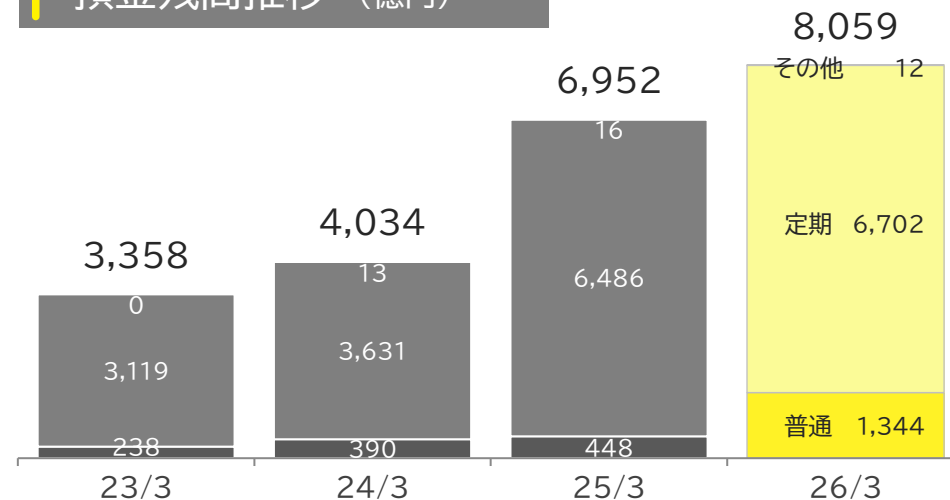
- ①ローン実行増加によるフィーの獲得、②ローン残高増加による貸出金利息の積み上げに加え、
- ③給振口座の獲得等粘着性の高い普通預金の積み上げによる預金利息の抑制により収支の改善を目指す

UI銀行 業績サマリー (億円)

	25/3 (実績)	26/3 (実績)	前年同期比
1 コア業務粗利益	24	39	+15
2 資金利益	16	10	▲5
3 貸出金利息	31	64	+32
4 有価証券利息配当金	1	6	+4
5 預金利息	▲18	▲67	▲49
6 その他利息	2	8	+5
7 非金利収支 (融資手数料等)	7	28	+21
8 経費	▲39	▲48	▲9
9 コア業務純益	▲15	▲9	+6
10 与信関係費用	▲0	1	+1
11 国債等債券損益	2	10	+8
12 経常利益	▲14	1	+16
13 当期純利益	▲14	1	+16

注1:本頁の各計数の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示
 注2:非金利収支=信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く)

預金残高推移 (億円)



ローン残高推移 (億円)

